

新潟県
ナースセンター事業報告

令和7年度

公益社団法人新潟県看護協会

ナースセンター課

地域ケア推進課

目 次

ごあいさつ	1
ナースセンター事業とは	2
新潟県ナースセンターの沿革	3
【ナースセンター事業報告 ナースセンター課】	5
令和7年度ナースセンター事業実績および令和8年度取り組み目標	6
ナースバンク事業	
Ⅰ 看護職員無料職業紹介事業	10
Ⅱ 看護師等免許保持者の届出制度	15
Ⅲ 未就業看護職員実態調査	17
Ⅳ 再就業移動相談事業	30
Ⅴ ナースセンター事業運営協議会	30
Ⅵ 広報活動	31
Ⅶ 看護補助者の確保に向けた周知	32
看護職員再就業支援強化事業	
Ⅰ 看護職員再就職支援セミナー	34
Ⅱ ナースセンター・ハローワーク連携事業	39
「看護の心」普及事業	
Ⅰ 看護の日事業	42
Ⅱ 看護の出前授業	42
Ⅲ 高校生一日看護師体験事業	43
日本看護協会委託事業	
Ⅰ 地域の実情に応じた看護職確保推進事業	44
【訪問看護推進事業報告 訪問看護推進課 訪問看護総合支援センター】	45
令和7年度訪問看護推進事業実績および令和8年度取り組み目標	46
訪問看護推進（支援）事業	
Ⅰ 訪問看護実態調査	50
Ⅱ 訪問看護相談事業	50
Ⅲ 訪問看護推進協議会	51
Ⅳ 訪問看護従事者研修会（新任者編）（管理編）（スキルアップ編）	52
Ⅴ 在宅看護（入退院支援）研修会	52
Ⅵ 訪問看護師育成サポート研修	53
Ⅶ 訪問看護就業支援プログラム	54
訪問看護総合支援センター事業	55
日本看護協会委託事業	
Ⅰ 地域の実情に応じた看護職確保推進事業	57
【参考】研修会プログラム	58～62

ごあいさつ

日頃より新潟県ナースセンター（以下、ナースセンター）事業にご理解とご支援をいただき感謝申し上げます。

少子超高齢社会、人口の急速な減少や多様な健康ニーズを抱える人々の増加を背景に、地域の保健・医療・福祉の現場で働く看護職に求められる役割は深化しています。更には看護職の働く場も拡大しています。自己にあった働く場の選択肢が増えた一方、一施設で働く看護職の人員数の確保は非常に難しくなっているように感じます。

新潟県ナースセンター事業は、①看護職及び看護補助者の無料職業紹介 ②看護職の再就業支援 ③「看護のこころ」普及事業 ④労働環境改善 等に分類されます。

この度の令和7年度「未就業看護職員実態調査」によれば、求職者の希望条件として「日勤のみ」が最も多いとされています。職業紹介の事例では希望条件と求人条件が合致せず応募を断念するケースが見られる事例が発生し、相談員の介入により求職者が条件を再検討し応募につながったケースがありました。また、求人施設側にも訪問時に求職者ニーズの情報提供や柔軟な働き方の提案等を行ってまいりました。労働環境改善の取組みでは、いくつかの病院の看護業務の効率化やタスク・シフト／シェアの取組を紹介したところ、参加者が後日それらを実践し、現場により変化をもたらしたことを確認させていただくことができました。

次年度はハローワークとの連携を強化し、お互いの職員間の知識を補完していくとともに、丁寧に効率的な看護職員確保につなげていきたいと考えています。

訪問看護推進事業につきましては、訪問看護事業所及び職員のサービスの提供体制整備や看護の質の充実に取組んでまいりました。令和7年度は初めて新卒看護師の就業につながり、他県と合同の情報交換や研修事業を開催しています。

今後は訪問看護の充実のみならず、保健医療福祉分野を跨る在宅ケアに視野を広げてまいります。

ナースセンター、地域ケアにつきましては、これまで同様細部まで丁寧な事業運営に心がけ、皆様に信頼され大いに活用していただけるよう努力してまいりますので、何卒ご協力のほどよろしくお願いいたします。

令和7年度版ナースセンター事業報告と訪問看護推進事業報告をお届けしますので、ご一読いただければ幸いです。

令和8年6月

新潟県ナースセンター所長 池田 良美

ナースセンター事業とは

新潟県ナースセンターは、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づき、平成5年に設置され新潟県知事の指定のもと新潟県看護協会が運営することになった。

I 新潟県ナースセンター事業実施要綱（平成5年4月制定）

1 ナースセンター事業目的

看護職員で未就業の者に対し、就業促進に必要な事業、看護業務などのPR事業及び訪問看護に従事する者の資質の向上等訪問看護の実施に必要な支援事業を行い、医療機関等の看護職員の確保及び在宅医療の推進に寄与する。

2 事業主体

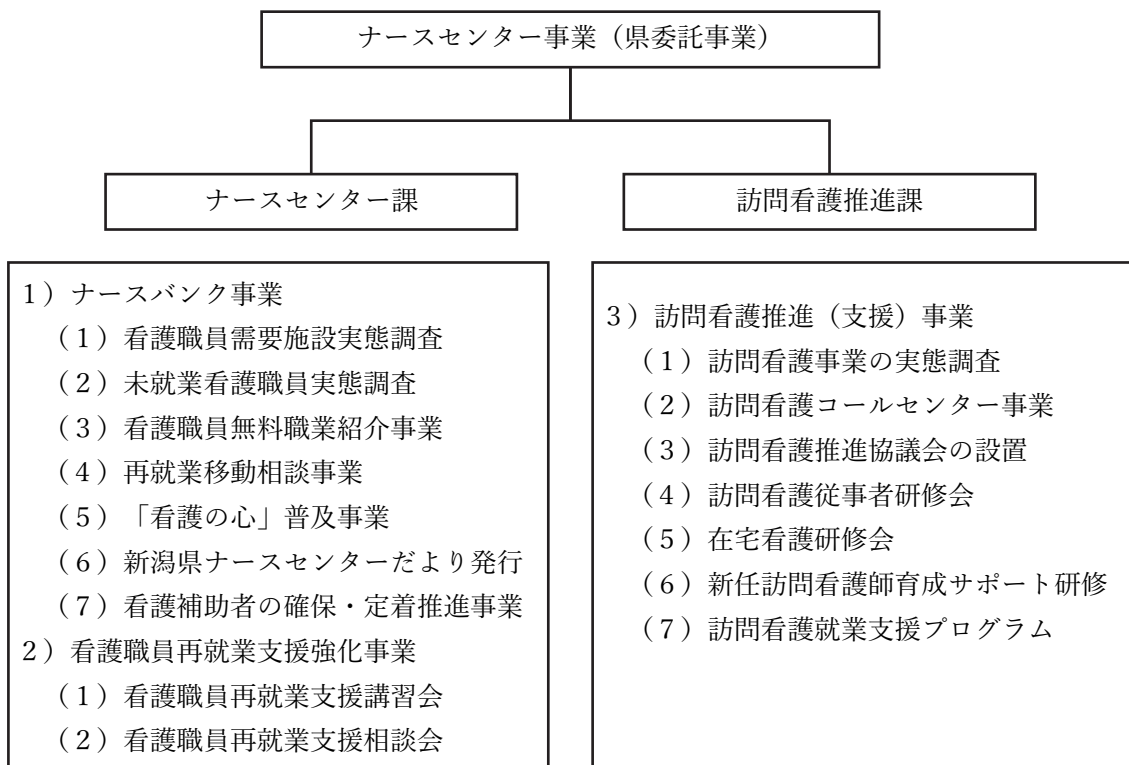
新潟県ナースセンター事業の事業主体は新潟県とし、医師・看護職員確保対策課を主管とする。

新潟県は事業の全部を新潟県看護協会（新潟県ナースセンター）に委託する。

3 運営

- 1) 新潟県ナースセンター事業の運営等については別に定める実施要領により実施する。また、本事業の円滑かつ効果的な実施方法を検討・協議するため、新潟県ナースセンター事業運営協議会を設置する。
- 2) 新潟県ナースセンター事業の運営にあたっては中央ナースセンターと連携を図り、潜在看護職員に関する情報交換を行う。
- 3) 新潟県ナースセンター事業に従事する職員は、看護に関する知識を有する者とし、各事業に対して責任を有する。また、業務上知り得た個人に関する秘密を厳守し、特に未就業看護職員名簿については部外秘とする。ナースセンターは、新潟公共職業安定所からの職業紹介関連情報について、以下の事項を遵守すること。（以下の事項は省略）
- 4) 訪問看護に関する事業の実施に当たっては、市町村、地域振興局健康福祉（環境）部等との連携を十分図る。

II 看護協会内運営組織



新潟県ナースセンターの沿革

西暦	和暦	関係法令・中央ナースセンター	事業運営の推移	ナースセンター事業内容
1990	平成2	日本看護協会新潟県支部ナースバンク事業発足		訪問看護実態把握事業の開始 看護ニュース第1号発行
1991	3			ナースバンク登録開始（来所・電話） 看護力再開発講習会の開始
1992	4	「看護師等の人材確保の促進に関する法律」公布		訪問看護婦養成講習会・訪問看護実態把握事業の開始 合同就職説明会の開始
1993	5	法律に基づくナースバンクの改組 ナースセンター事業の開始	日本看護協会新潟県支部廃止 「助看保協会」改め「社団法人新潟県看護協会」となる	ハロワーク連携事業：再就業移動相談会の開始 ナースセンター事業 ・ナースバンク事業（講習会・移動相談・調査） ・看護の心普及事業（進路相談）
1994	6		新潟県看護職員確保対策連絡協議会設置	訪問看護検討委員会の開催
1995	7	NCCSコンピュータシステムの導入 中央ナースセンターと都道府県ナースセンターのオンライン化	「新潟県ナースバンク」から「新潟県ナースセンター」へ名称変更、看護協会長がナースセンター長となる	訪問看護需要調査の実施
1999	11			「看護ニュース」から「ナースセンターニュース」へ改題
2001	13			e-ナースセンターオンライン登録の開始
2004	16			訪問看護推進協議会開始
2006	18			看護学生のための病院就職ガイダンスの開催
2007	19			訪問看護従事者研修会・在宅看護研修会の開始 新潟県内訪問看護ステーション機能強化委員会
2008	20			「ナースセンターニュース」から「ナースセンターだより」へ改題
2011	23			U・Iターン個別相談会の開始 就業相談電話予約制の導入
2013	25		公益社団法人新潟県看護協会となる	「看護再開発講習会」から「再就職支援講習会」へ改題 ハロワークにおける再就職相談会の開始 e-ナースセンターシステム更新
2014	26			登録の簡略化とスマートフォンへの対応 ハロワーク求人検索が可能となる
2015	27	「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の一部改定により看護師等の離職時のナースセンターへの届出の努力義務化 Web登録「とどけるん」		看護師等の離職時等の届出制度の周知

西暦	和暦	関係法令・中央ナースセンター	事業運営の推移	ナースセンター事業内容
2016	28		ナースセンター事業を「ナースセンター課」「訪問看護推進課」の2課で事業分担 ナースセンター相談窓口の開設 上越：上越保健所内 南魚沼：ゆきぐに大和病院 柏崎：柏崎市役所内	ナースセンター相談窓口設置の周知 訪問看護教育プログラムの開始
2017	29		上越相談窓口：上越保健所から市民プラザへ移転	
2018	30		上越が「相談窓口」から「支所」となる 南魚沼相談窓口：ゆきぐに大和病院から南魚沼図書館内へ移転	再就業支援強化事業：施設見学ツアーの開始
2019	令和1		長岡支所の開設：さいわいプラザ	再就業支援強化事業：e-ラーニング（学研）研修の開始 看護関係学校養成所訪問の開始
2020	2	日本看護協会 新型コロナウイルス感染症対応広域人材確保事業		職業相談Web予約制の導入 ハローワーク連携施設訪問の開始 訪問看護就業支援プログラムの開始 日本看護協会訪問看護総合支援センター試行事業の実施 訪問看護ステーション運営アドバイザー事業の開始 日本看護協会委託事業 ・広域人材調整事業 ・潜在看護職員研修事業 ・看護職員の離職防止相談事業 県委託事業 ・潜在看護職員就業準備金支給事業
2021	3			
2022	4		訪問看護総合支援センター設置	訪問看護従事者研修会の体系化
2023	5		「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」改定により、看護補助者の無料職業紹介も実施するのが重要と明記	
2024	6			日本看護協会委託事業 ・看護補助者確保・定着推進事業実施 ・地域に必要な看護職確保推進事業実施
2025	7			日本看護協会委託事業 ・地域の実情に応じた看護職確保推進事業実施 「ナースセンターだより」のデータ配信を開始

ナースセンター事業報告

ナースセンター課

令和7年度ナースセンター事業実績

事業名	事業	事業目的	事業内容	令和7年度事業目標
ナースバンク事業	看護職員無料職業紹介事業	未就業看護職員の就業を促進することにより、求人求職双方の需要に応じ、看護職員不足の解消に寄与することを目的とする	<ol style="list-style-type: none"> 1) 求職者および求人施設の就職相談、職業紹介、就職支援 2) 本所・支所（長岡・上越） ・相談窓口（南魚沼・柏崎）との連携 3) 進学相談 4) 登録者への継続支援（6か月毎） 5) 看護師等免許保持者の届出制度 6) 他関係機関との連携 	<ol style="list-style-type: none"> 1) ナースセンターの役割や活動の周知、参加しやすい再就職セミナーの開催を通して、利用者の増を目指す 2) 丁寧な相談対応と相談員のスキルアップに努め、より対象にあった再就職を支援する
				周知方法を工夫し、届出件数の増加を目指す
	実態調査	<p>【看護職員需要施設実態調査】</p> 県内に住所を有する看護職員の需要施設の実態を調査し、需要施設の充足を図ると共に、未就業看護職員の就業を促進することを目的とする	看護職員需要施設実態調査	-
		<p>【未就業看護職員実態調査】</p> 県内に住所を有する未就業看護職員の実態を調査し、未就業看護職員の就業を促進することを目的とする	未就業看護職員実態調査	<ol style="list-style-type: none"> 1) 未就業看護職員の退職理由と再就職で必要としている内容を把握し、再就職支援のための基礎資料とする 2) 求職者が利用している求人情報または職業紹介所についてとナースセンターに希望する内容を把握し利用しやすい体制構築への基礎資料とする
	再就業移動相談事業	ナースセンターから遠い地域や平日に来所できない就業希望者の就業を促進するため、地域に出向き相談会を実施し、ナースバンクへの登録及び就業を促進することを目的とする	関係機関と連携した出張相談	他機関主催のイベント等に参加し、求職者の支援をする
新潟県ナースセンターだより	県内に住所を有する看護職員に医学及び看護に関する最新情報を提供し、未就業看護職員の就業を促進することを目的とする	ナースセンターだよりの発行 年1回1月発行	2月発行 施設の希望に応じた方法で周知する	
看護補助者の確保に向けた周知	広く県内住民の方に、看護補助者の仕事に関する情報提供や研修の場を提供し看護補助者としての就業を促すことを目的とする。	看護補助者の仕事の周知 <ol style="list-style-type: none"> 1) 「看護補助者のしごと」説明会 2) オンデマンド配信研修 3) リーフレットによる周知 	「看護補助者のしごと」説明会や研修の周知を図り、参加者数を増やすとともに就職につながるよう支援する ＊R6は日本看護協会の委託事業で実施	

および令和8年度取り組み目標

令和5・6・7年度実績					令和8年度計画	
項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	前年増減	指標	取り組み目標
求職登録者数(人)	2,651	2,825	2,949	124	—	1) 就職者数の減少傾向に対し、登録者への働きかけを強化する 2) 相談員のスキルアップに努め、より対象にあった再就職を支援する 3) 看護補助者を希望する求職者への就職を支援する
求職登録者数(月平均)	2,614	2,769	2,915	146	—	
うち有効登録者数(月平均)	297	266	265	-1	—	
新規登録者数(人)	439	430	375	-55	420	
求人登録者数(人)	901	1,024	897	-127	—	
求人登録者数(月平均)	864	875	950	75	—	
当月新規求人件数	527	463	443	-20	480	
求人倍率(月平均)(倍)	2.93	3.31	3.59	0	—	
求職相談件数(件)	6,043	5,727	5,768	41	6,000	
求人相談件数(件)	3,610	3,412	3,661	249	3,800	
見学設定件数(件)	—	377	330	-47	350	
就職者数(人)	372	358	346	-12	360	
常勤	129	117	146	29	150	
非常勤	178	193	153	-40	160	
臨時	65	48	47	-1	50	
届出登録数(件)	441	441	402	-39	450	周知を継続し、支援につなげる
個人登録	226	206	235	29	250	
施設代行登録	64	79	20	-59	40	
ナースセンター代理登録	151	156	147	-9	160	
調査対象施設数(件)		1,867				
回答施設数(件)		699				
回答率(%)		37.4				
調査対象者数(人)	2,492		2,784	292		
回答者数(人)	334		429	95		
回答率(%)	13.4		15.4	2		
関係機関主催の場における相談回数(回)	10	5	7	2		他機関との連携を継続し、他機関主催のイベント等に参加することで、求職者を支援する
相談件数(件)	23	10	9	-1		
発行数(部)	2,500	2,450				就業に必要な情報を提供する
冊子送付(件)			1,389	1,389	120	
メール配信(件)			459	459	463	
「看護補助者のしごと」説明会参加者数(人)	—	61	68	7	90	ハローワークと連携し「看護補助者のしごと」説明会や研修への参加を促し、看護補助者としての就職を支援する
オンデマンド配信研修						
集合研修受講者数(人)	—	5	4	-1	14	
自己研修受講者数(人)	—	6	2	-4	70	
「看護補助者のしごと」説明会参加者の就職者数(人)	—	3	2	-1	5	

令和7年度ナースセンター事業実績

事業名	事業	事業目的	事業内容	令和7年度事業目標
看護職員再就業支援強化事業	再就業支援強化事業	県内に住所を有する未就業看護職員に対し、看護の動向および業務に必要な知識及び技術の研修を行い、就業を促進すると共に、質の向上を図ることを目的とする	再就職支援セミナー 1) eラーニング 2) 基礎1日コース 講義、技術演習・意見交換等 3) 施設見学・体験コース	求職者が参加しやすい意見交換や技術演習の場を設定し、再就職者への支援をする
	ハローワーク連携事業	ナースセンターから遠い地域に在住する就業希望者のために、県内のハローワークに出向き相談を行うことにより再就職を促進することを目的とする	1) 看護職員再就業支援相談会 (ハローワーク13か所で相談会) 2) ハローワーク連携セミナー 3) ケース会議 4) 求人施設訪問 5) 連絡調整会議	1) 相談会利用率を増やす 2) 相談会参加者や連携セミナー受講者の就職支援を継続する
「看護の心」普及事業	「看護の心」普及事業	将来看護職員を目指す中・高校生及び学校の進路担当者等に対し、看護業務についての知識と理解を深めさせると共に、多様な看護職員の養成課程を理解し適正な進路を歩むことができるように支援することを目的とする	「看護の心」普及啓発 1) 看護の日事業 2) 看護の出前授業 高校生一日看護師体験事業	看護の日事業の活動継続と充実を図り、幅広い年代に向け看護のしごとの魅力を発信する
日本委託看護協会	地域の実情に応じた看護職確保推進事業	地域の実情や病院等のニーズに応じた看護職・看護補助者の確保	医療機関、介護・福祉施設における看護職員の確保 1) 介護・福祉の職場を知るためのセミナー 2) 医療機関、介護・福祉施設への施設訪問 看護補助者の確保・定着に向けた取り組み 看護学生・潜在看護職を対象としたNuPSの周知	1) 看護職が介護福祉の職場を知る機会を設けることで、介護福祉施設への再就業につなげる 2) 看護学生・eナースセンター登録者にNuPSについて周知する

および令和8年度取り組み目標

令和5・6・7年度実績					令和8年度計画	
項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	前年増減	指標	取り組み目標
再就職支援セミナー参加者数(人)	145	119	118	-1	176	受講者の就職者数減少傾向に対して、受講者が研修後に就職につながるような関わりや動機づけを強化する
eラーニング	51	39	27	-12	49	
基礎1日コース	76	67	68	1	89	
定期採血技術演習コース	—	—	15	15	18	
施設見学コース・体験コース	18	13	8	-5	20	
施設見学、体験受入施設数	7	13	8	-5	20	
基礎1日コース開催数(回)	8	6	6	6	6	
うちプラチナナースコース開催数(回)	4	3	3	0	3	
プラチナナース参加者数(人)	37	28	31	3	40	
再就職支援セミナー参加者の再就職者数(人)	70	62	58	-4	92 (就職率52%)	
看護職員再就職支援相談会相談者数(人)	163	158	162	4	170	ナースセンター・ハローワーク連携事業の具体的な実施方法の一部改正に伴い、一体的に就職支援・充足支援を進められるよう、連携を強化する
利用率(%)	52.9	51.3	53	1	55	
ハローワーク連携セミナー 求職者向け開催数(回)	2	2	2	0	1	
求人施設向け開催数(回)	1	0	0	0	0	
ケース会議開催(回)	7	7	8	1	12	
ナースセンター・ハローワーク連携施設訪問数(件)	10	10	9	-1	10	
看護の日事業参加者数(人)	73	36	341	305	300	看護の日事業の活動継続と充実を図り、若年層を中心に看護のしごとの魅力を発信する * 令和7年度看護の日事業参加者数は、延べ人数 * 進学者数は、前年度実績
看護の出勤授業参加中学生数(人)	143	253	125	-128	240	
高校生一日看護師体験事業 実施病院数(件)	91	96	99	3	101	
参加者数(人)	700	828	810	-18	1,059	
看護系大学・養成所への進学者数(人)	143	456	456	0	—	—
割合(%)	88.8	84.4	86.5	2	—	
介護・福祉の職場を知るためのセミナー参加者数(人)	—	10	13	3		1) 求人施設訪問や周知広告を通して、ナースセンターの認知度向上と利用促進を目指す 2) 施設訪問で得た情報を求職者へ提供することで、求人施設の充足を支援する
医療機関・施設等訪問件数(件)	—	—	10		10	
補助者周知ポスター作成B2(部)	—	—	40			
看護補助者リーフレット作成(部)	—	—	6,000			
NuPS周知 媒体発送件数(件)	—	—	22			
看護師等学校養成所訪問件数(件)	—	—	10			
求職者へメール	—	—	4,041			

ナースバンク事業

I 看護職員無料職業紹介事業

新潟県ナースセンターは、新潟県知事の指定のもと新潟県看護協会が運営し、看護師等無料職業紹介事業を行っている。e ナースセンター（日本看護協会が運営する無料職業紹介サイト）による職業紹介や、看護職の離職時等の届出制度（看護師等の届出サイト「とどけるん」の周知や登録支援を、新潟市の本所をはじめ、長岡支所、上越支所、南魚沼相談窓口、柏崎相談窓口の県内5カ所で運営をしている。

以下は、3月31日現在の実績である。

1 求職登録実績（e ナースセンター）

1) 求職登録者数（月別） (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
ユーザー登録者数 ※1	2,852	2,878	2,881	2,896	2,912	2,932	2,933	2,929	2,934	2,937	2,947	2,949	2,915
求職者数 ※2	269	271	275	289	294	289	265	255	258	239	240	241	265
当月新規登録者数	52	32	27	42	32	35	21	24	29	20	23	38	31

※1…求職登録者のうち「就職活動をしている」と登録した者

※2…ユーザー登録者のうち「求職票」の登録がある者

2) 二次医療圏域別求職登録者数 ※保有資格すべて (人)

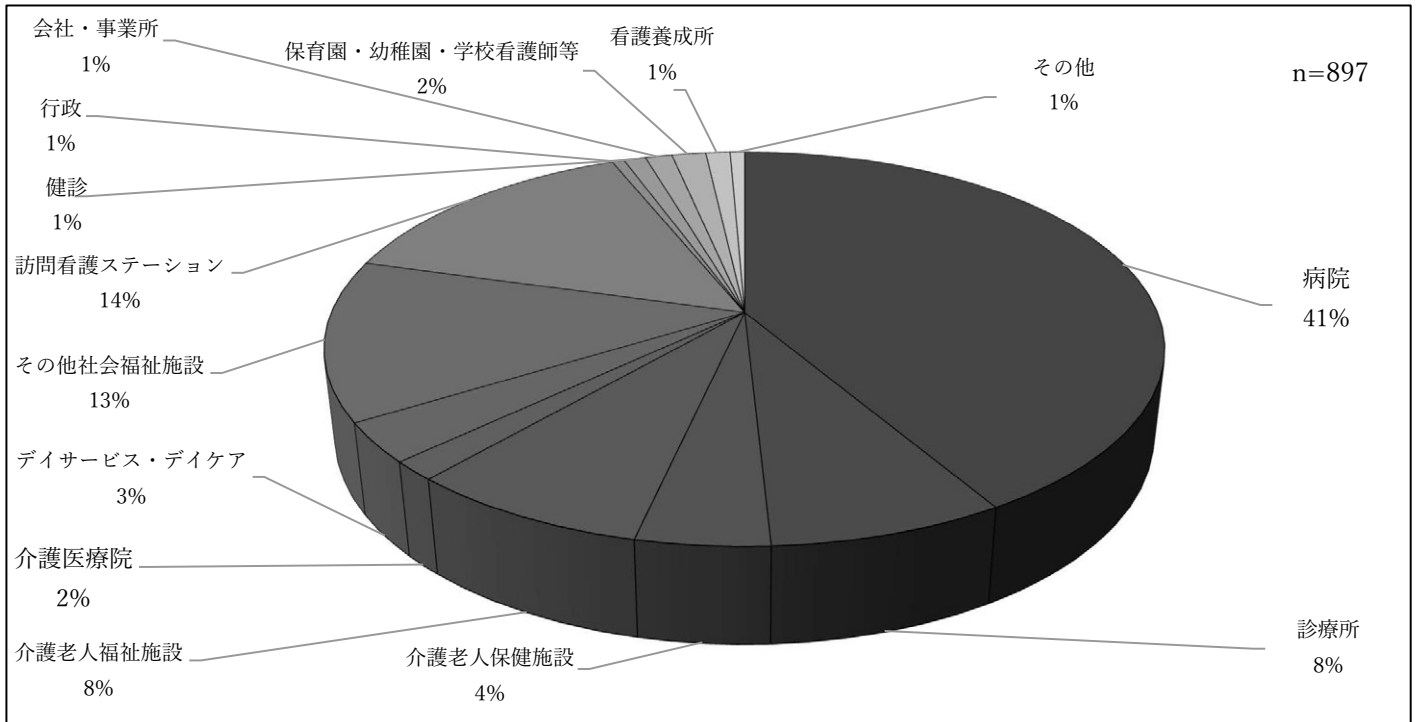
二次医療圏域		保健師	助産師	看護師	准看護師
下越地区	新発田市・村上市・胎内市・ 聖籠町・関川村・粟島浦村	16	5	136	39
新潟地区	新潟市・五泉市・ 阿賀野市・阿賀町	292	71	1,532	333
県央地区	三条市・燕市・加茂市・ 弥彦村・田上町	23	6	172	69
中越地区	長岡市・柏崎市・小千谷市・ 見附市・出雲崎町・刈羽村	65	20	420	88
魚沼地区	十日町市・魚沼市・ 南魚沼市・湯沢町・津南町	36	6	145	17
上越地区	上越市・糸魚川市・妙高市	40	10	233	27
佐渡地区	佐渡市	1	0	15	2
計		473	118	2,653	575

2 求人登録実績（e ナースセンター）

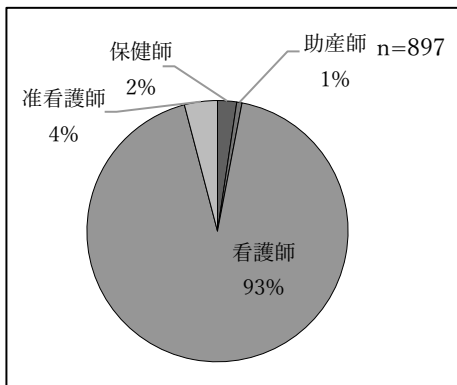
1) 求人者数と求人件数（月別） ※新規求人件数は常勤・非常勤のみ集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
求人者数	1,074	1,035	1,021	956	955	912	920	892	937	914	892	897	950
求人件数	523	494	471	462	462	455	462	462	492	473	460	466	474
当月新規求人件数	45	29	40	42	38	38	47	25	45	24	30	40	37

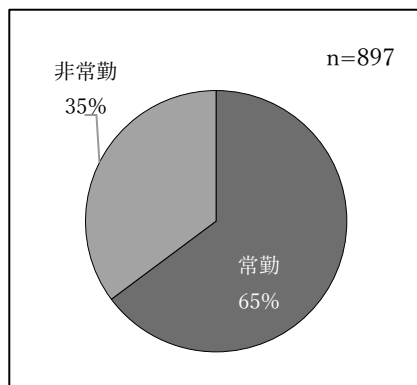
2) 施設別求人 (割合)



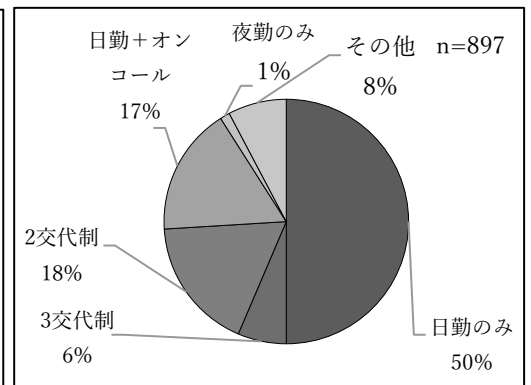
3) 資格別求人 (割合)



4) 雇用形態別求人 (割合)



5) 勤務形態別求人 (割合)

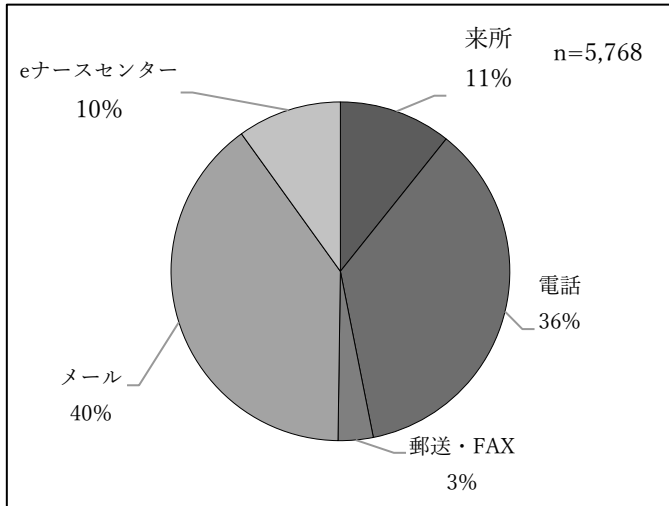


3 相談実績

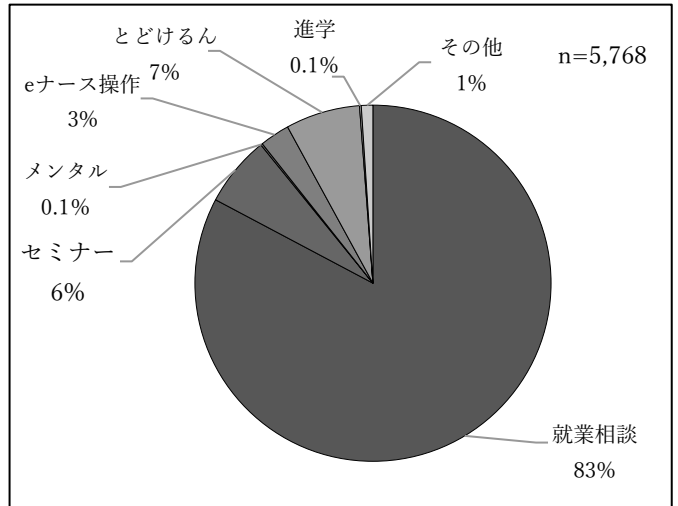
1) 求職相談件数 ※ () 内は昨年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本所	329	284	293	435	318	399	370	299	437	364	240	389	4,157
長岡支所	55	50	53	52	30	50	69	19	18	16	15	21	448
上越支所	86	71	58	105	57	76	100	59	49	75	71	102	909
南魚沼 相談窓口	7	3	6	7	2	6	8	5	11	4	7	10	76
柏崎 相談窓口	15	9	14	22	19	22	12	28	7	10	11	9	178
合計	492 (563)	417 (488)	424 (435)	621 (513)	426 (545)	553 (504)	559 (499)	410 (316)	522 (396)	469 (488)	344 (450)	531 (530)	5,768 (5,727)

2) 求職者の相談手段別（割合）



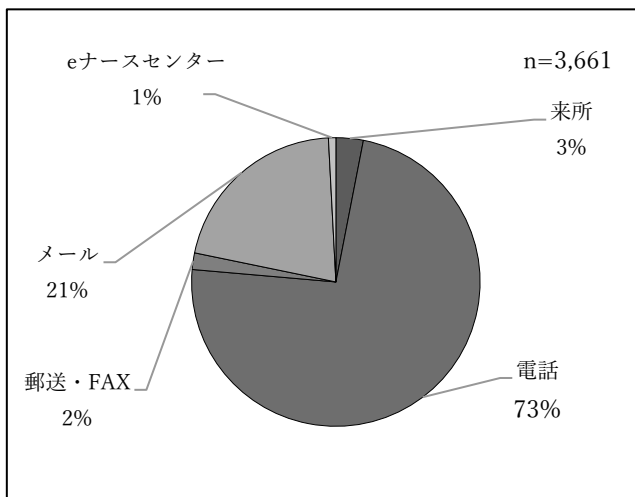
3) 求職者の相談内容別（割合）



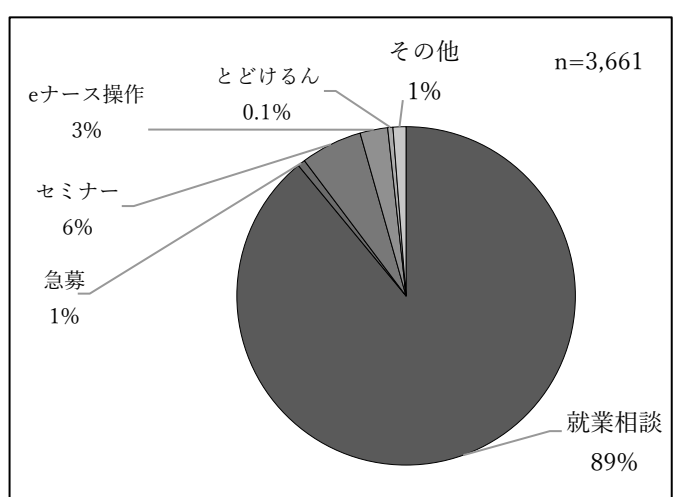
4) 求人相談件数 ※（ ）内は昨年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本所	180	203	256	232	201	276	238	196	232	222	149	205	2,590
長岡支所	39	32	33	27	23	22	6	24	14	9	20	23	272
上越支所	55	50	35	68	38	60	73	42	42	56	47	69	635
南魚沼 相談窓口	1	4	2	2	10	3	5	5	5	1	4	2	44
柏崎 相談窓口	16	3	5	12	8	16	25	9	7	6	2	11	120
合計	291 (301)	292 (249)	331 (315)	341 (310)	280 (307)	377 (294)	347 (280)	276 (214)	300 (242)	294 (284)	222 (330)	310 (286)	3,661 (3,412)

5) 求人施設の相談手段別（割合）



6) 求人施設の相談内容別（割合）

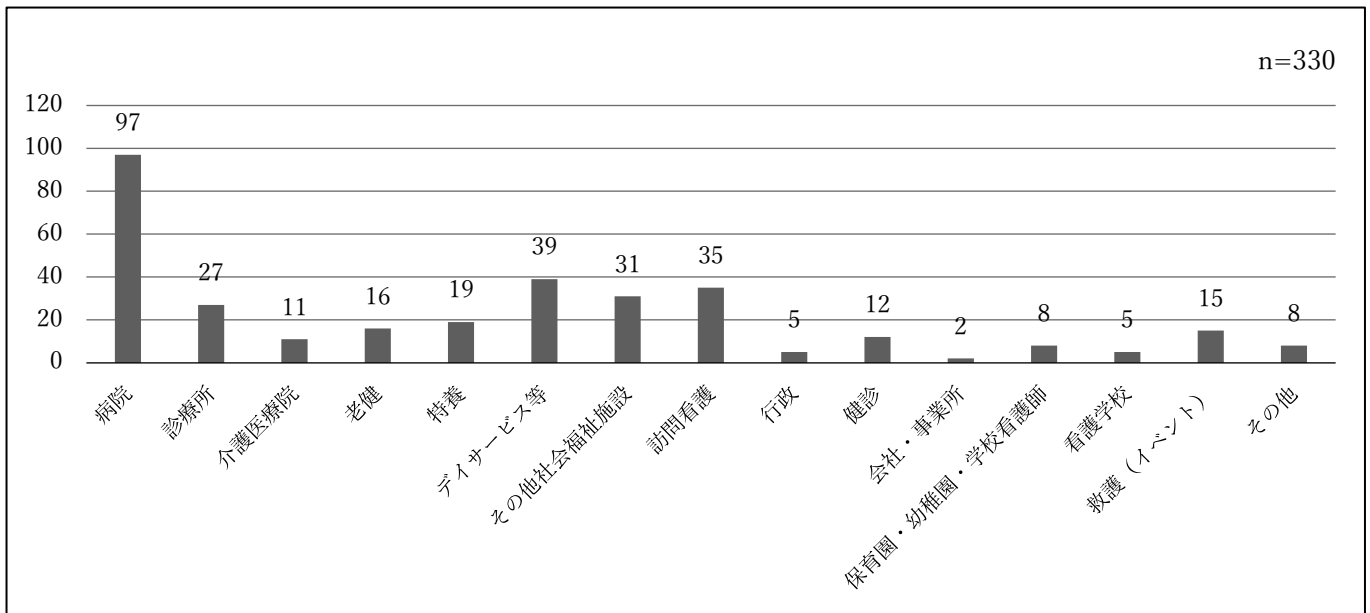


4 応募前施設見学実績

1) 見学設定件数 ※ () 内は昨年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本所	9	21	12	18	7	10	14	9	13	7	5	15	140
長岡支所	4	3	7	8	2	4	2	1	1	0	0	3	35
上越支所	10	7	7	12	13	10	20	9	4	20	10	14	136
南魚沼相談窓口	0	1	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	5
柏崎相談窓口	2	0	2	2	2	2	1	3	0	0	0	0	14
合計	25 (45)	32 (33)	28 (35)	40 (25)	25 (33)	27 (37)	38 (25)	22 (21)	18 (19)	28 (30)	15 (46)	32 (28)	330 (377)

2) 見学設定先施設種別



5 就職実績

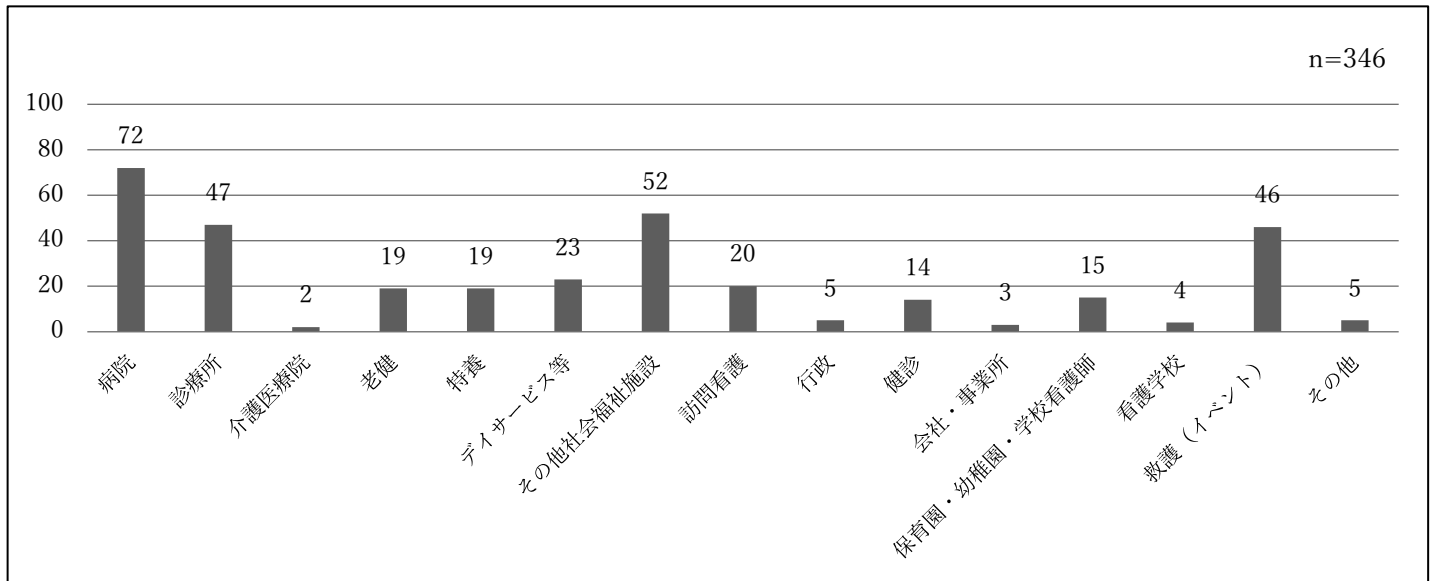
1) 就職者数 ※ () 内は昨年度実績

(人)

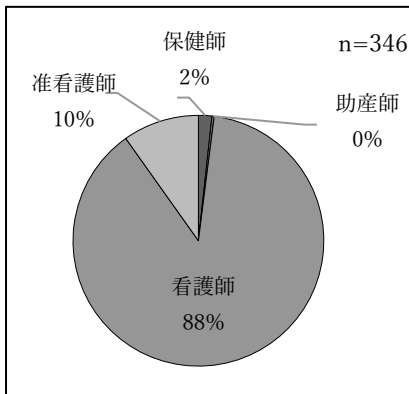
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本所	13	9	10	13	17	15	15	11	18	23	13	22	179
長岡支所※	2	5	6	3	4	6	7	4	4	3	1	5	50
上越支所	16	13	11	12	9	14	6	9	7	3	6	11	117
合計	31 (27)	27 (32)	27 (26)	28 (31)	30 (38)	35 (23)	28 (43)	24 (24)	29 (25)	29 (23)	20 (31)	38 (35)	346 (358)

※1：南魚沼相談窓口および柏崎相談窓口の相談者含む

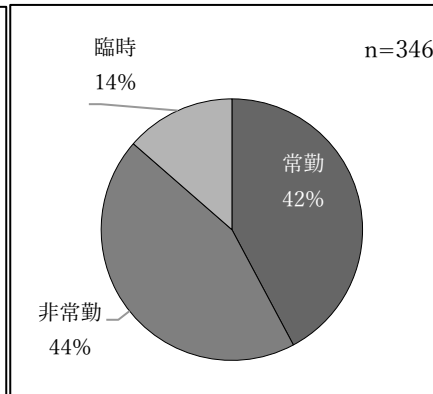
2) 就職者の就職先施設種別



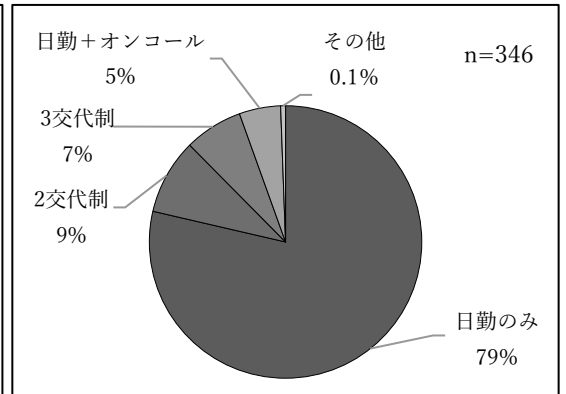
3) 資格別就職者(割合)



4) 雇用形態別就職者(割合)



5) 勤務形態別就職者(割合)



6 成果

昨年度に比べ、求職登録者・求人登録者数ともに増加傾向にあるが、それぞれの新規登録者数は減少している。求職相談件数、求人相談件数はともに横ばいであった。

求職相談の方法として、例年に続きメール相談が増加している。メール相談においても相談員はきめ細やかな対応を心がけており、求職者のニーズに合った多様な手法でサポートできていると考えるが、就職者数はやや減少傾向にある。

7 課題

多様化する事例対応・看護職員確保・定着を進めるため、今年度も施設訪問を実施した。訪問時には、多様な働き方の検討や受入に関する情報収集、求職者のニーズに関する情報提供を行った。

今後も求人施設への訪問を継続すること、また、各種機関との連携や情報共有、ナースセンターの周知を継続することで、顔のみえる関係づくりの構築、看護職員の確保・定着に努めたい。

また、ナースセンターでは求職者のニーズを重視し寄り添いながら、丁寧かつきめ細やかな相談対応を実施していることを周知し、登録者への働きかけを強化していく。

II 看護師等免許保持者の届出制度

1 届出制度

平成 27 年 10 月「看護師等の人材確保の促進に関する法律」（看護師等人材確保法）の改正により、保健師・助産師・看護師・准看護師の免許をもち、病院等の職場を離職した場合などに、都道府県ナースセンターへ氏名や連絡先などを届け出る制度で努力義務になっている。

この制度を広く周知させ、離職中の看護師等の再就職を支援し看護職員の人材確保につなげていく。

2 集計期間 平成 27 年 10 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

3 届出登録状況

登録者数: 5,331 人（中央ナースセンター集計）

※県外への転入転出にて変動あり

1) 月別届出件数

年度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和 5 年度	61	36	37	37	31	38	32	24	27	24	44	50	441
令和 6 年度	73	47	30	43	27	24	32	17	22	34	27	65	441
令和 7 年度	60	45	30	40	31	23	15	31	33	20	22	52	402

2) 登録別

年度	個人	施設代行	N-C 代理	計	
令和 5 年度		226	64	151	441
令和 6 年度		206	79	156	441
令和 7 年度		235	20	147	402

3) 医療圏別

年度	下越	新潟	県央	中越	魚沼	上越	佐渡	不明	計
令和 5 年度	35	163	38	90	19	91	5	0	441
令和 6 年度	39	140	30	110	10	110	1	1	441
令和 7 年度	26	159	22	82	12	97	4	0	402

4) 登録時の就業活動の状況

年度	就職していない	就職していないが求職中	就業中・就業予定（看護師）	就業中・就業予定（看護職以外）	学生・その他	不明（未記入）	合計
令和 5 年度	97	136	152	17	15	24	441
令和 6 年度	97	120	160	14	17	33	441
令和 7 年度	81	108	145	8	19	41	402

5) 届出に関する周知活動状況

(1) 関係機関への周知協力

- ・新潟県病院協会、新潟県老人福祉施設協議会、新潟県訪問看護ステーション協議会、新潟市医師会から、関係施設への周知を依頼

(2) 看護管理者への周知依頼

- ・県内病院、訪問看護ステーション管理者宛に、メールで届出周知依頼（5月・12月）
- ・病院等施設訪問時に、看護管理者・事務担当者に、離職者への届出周知依頼
- ・看護部長会・支部長会議で、担当理事より届出登録周知の説明
- ・認定看護管理者研修（セカンドレベル・ファーストレベル）で説明（7月・9月）

(3) 一般看護職への届出周知

- ・ホームページを更新し、届出登録の登録方法を詳細に表記（6月）

(4) 看護師等学校養成所への周知

- ・看護協会への入会リーフレット、ナースセンターのご紹介のリーフレットの送付
- ・看護師等学校養成所訪問（10校：大学1、養成所8、高等学校専攻科1）卒業生への説明

(5) 新潟県のポータルサイト「新潟県看護のお仕事ステーション」の活用、広報誌を通して周知

- ・県のSNS「新潟県看護のお仕事ステーション」に、計4回（5月・7月・12月・3月）看護職向け・管理者向けに届出制度について掲載
- ・“看護にいがた”に3回、ナースセンターだより（12月発刊）で届出について周知

4 結果

- 1) 月別届出件数は昨年度441件、今年度402件 前年度比-8.8%という結果であった
- 2) 経年で登録方法別で見ると、施設代行登録は前年度までほぼ横ばいであったが、今年度は減少。個人登録は増加がみられた。

5 課題

今年度は、届出周知の活動に、施設訪問時に管理者への説明、県のSNS「新潟県看護のお仕事ステーション」への掲載など実施してきたが、より意識づけができる周知方法を検討する必要がある。

- 1) ハローワークと連携し、届出登録の周知を図っていく
- 2) 広報の工夫：SNS等の活用で広報の幅を広げていく
- 3) 病院等施設訪問を通しての周知の継続

Ⅲ 未就業看護職員実態調査

1 調査概要

- 1) 目的：本調査は、新潟県内に住所を有し新潟県ナースセンターに登録している看護職の実態を調査し、未就業看護職の就業を促進することを目的とする
 - (1) 未就業看護職の退職理由と再就職で必要としている内容を把握し、再就職支援のための基礎資料とする
 - (2) 求職者が利用している求人情報・手段についてとナースセンターに希望する内容を把握し、利用しやすい体制構築への基礎資料とする
- 2) 調査期間：7月16日～8月16日（回答は7月1日時点）
- 3) 調査対象：e ナースセンターに登録しており、6月5日時点で「就職活動をしている」と設定している者
- 4) 調査方法：(1) 調査票の配布はメール送信とし、メールアドレスの登録が無い者（247人）には郵送
(2) 回答方法は、基本 Web 回答とし、調査票の郵送者には返信用封筒での回答も可能とした
- 5) 調査対象数：調査対象数 2,784 人、有効回答数 429 人（15.4%）（参考：令和 5 年度調査 13.4%）
（内訳）看護職として就業している 270 人（62.9%）
看護職として就業していない 159 人（37.1%）

2 結果概要

- 1) 未就業者の回答の 6 割以上を 50 歳代以上が占めた。（図表 8）退職理由は、「定年退職」（11.9%）が最も多く、次いで「家族の介護・看護」（10.1%）、「身体的な健康上の理由」（8.8%）であった。（図表 11-1）
- 2) 離職期間は、3 年未満が 5 割以上を占めた。年代別でみると、30 歳代は他の年代に比べて「5～10 年未満」が占める割合が多かった。（図表 9-1）その主な退職理由は「結婚・妊娠・出産・育児」（図表 11-2）であり、看護職として再就業を希望しない理由は「ブランクが長くて復職が不安」「看護職以外の業種を希望」という回答が多かった。（図表 17-2）
- 3) 看護職として就業したい理由は、「社会とつながりをもちたい」（56.3%）が最も多く、次いで「収入を得る必要性が生じた」（53.4%）、「やりがいのある仕事だから」（37.9%）と続いた。（図表 16）
- 4) 再就業の希望条件は、雇用形態では非常勤（71.8%）が最も多く、勤務形態では、日勤で短い勤務時間の希望が多かった。（図表 19、20）
- 5) 応募する際に利用した方法は、ハローワークと知人からの紹介が主であった。また、ナースセンターを知った経緯は「看護協会のホームページ」が最も多かった。（図表 25、図表 5）
- 6) 今後利用したい求職方法ではハローワークが最も多く、次いでナースセンターであった。（図表 26）その理由は、「施設について知りたい情報が提供される」が最も多かった。（図表 27）また、ナースセンターの利用手段はメール希望が最も多かった。（図表 7）
- 7) 再就職支援セミナーの受講について、これまでの参加経験の有無については、「ない」（73.0%）で、参加経験がない理由は、「特に理由はない」（39.7%）が最も多かった。（図表 23、図表 24）

3 所見

- 1) 退職理由は、定年退職が最も多く、それ以外は求職者側の都合による理由であった。求職者側の都合で退職した場合、日勤・短時間で柔軟性のある勤務希望が多い傾向があり、今後も多様な勤務体制が求められると考える。
- 2) 子育て世代の退職理由は「結婚・妊娠・出産・育児」が多く、他の年代に比べてブランクの長さが特徴的であった。また、全体の回答より、看護職として復職を希望する理由が「社会とつながりをもちたい」であったことから、退職後の求職者とのつながりを継続し、状況に応じた勤務条件の把握に努め、ブランクを設けずに復職支援をすることが重要だと再認識できた。
- 3) 求職者が最も利用している、または今後利用したい求人情報はハローワークであり、今後の利用希望ではナースセンターがハローワークに次いで多かった。これらを希望する理由で最も多かったのは、知りたい情報が提供されることであり、再就職においては特に、条件を含めた求人情報が得られることが必要といえる。
- 4) ナースセンターを知る機会は新潟県看護協会のホームページからが多いため、タイムリーな情報更新や内容の充実を図ることで利用者増加を図りたい。希望する手段はメールが最も多く、自身の都合に合わせてコンタクトがとりやすいためと考えられ、今後も積極的に活用していきたい。
- 5) 調査からみえた課題として、新潟県ナースセンターの再就職支援セミナーの受講者を増やすためには、最も多い回答であった「特に理由はない」と回答する者に対して、動機づけをするような働きかけが必要である。

4 結果詳細

1) 回答者 429 人の調査結果

(1) 回答者の属性

年代は、50 歳代 (27.3%) が最も多く、次いで 40 歳代 (21.0%)、30 歳代 (17.5%) であった。(図表 1) 居住地は、新潟市 (52.7%) が最も多く、次いで上越市 (12.4%) 長岡市 (10.3%) であった。(図表 2) 経験が長い資格は、看護師 (83.4%) が最も多く、次いで准看護師 (10.7%)、助産師 (3.5%) であった。(図表 3)

また、現在の看護職としての就業については、就業している (62.9%)、就業していない (37.1%) であった。(図表 4)

図表 1 回答率 (年代別)

	全体	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60~64 歳	65~69 歳	70 歳以上
上段：回答数	429	21	75	90	117	63	49	14
下段：割合 (%)	100.0	4.9	17.5	21.0	27.3	14.7	11.4	3.3
未就業者	159	8	19	28	36	29	31	8
	37.1	38.1	25.3	31.1	30.8	46.0	63.3	57.1
就業者	270	13	56	62	81	34	18	6
	62.9	61.9	74.7	68.9	69.2	54.0	36.7	42.9

図表 2 回答率 (市町村別)

市町村	全体	村上市	関川村	粟島浦村	胎内市	新発田市	聖籠町	新潟市	阿賀野市	阿賀町	五泉市
上段：回答数	429	5	0	0	1	10	1	226	4	2	8
下段：割合 (%)	100.0	1.2	0.0	0.0	0.2	2.3	0.2	52.7	0.9	0.5	1.9
		燕市	三条市	弥彦村	加茂市	田上町	見附市	長岡市	出雲崎町	小千谷市	柏崎市
		12	14	2	3	2	2	44	0	1	15
		2.8	3.3	0.5	0.7	0.5	0.5	10.3	0.0	0.2	3.5
		刈羽村	魚沼市	南魚沼市	湯沢町	十日町市	津南町	上越市	妙高市	糸魚川市	佐渡市
		0	8	7	0	3	0	53	3	0	3
		0.0	1.9	1.6	0.0	0.7	0.0	12.4	0.7	0.0	0.7

図表 3 回答率 (資格別)

	全体	保健師	助産師	看護師	准看護師
上段：回答数	429	10	15	358	46
下段：割合 (%)	100.0	2.3	3.5	83.4	10.7

図表 4 就業の有無

	全体	就業している	就業していない
上段：回答数	429	270	159
下段：割合 (%)	100.0	62.9	37.1

(2) ナースセンターを知った経緯 (図表 5)

「看護協会のホームページ」(45.5%) が最も多く、次いで、「知り合い等からの紹介」(21.9%)、「ハローワークからの紹介」(21.0%) であった。

図表 5 ナースセンターを知った経緯 (複数回答)

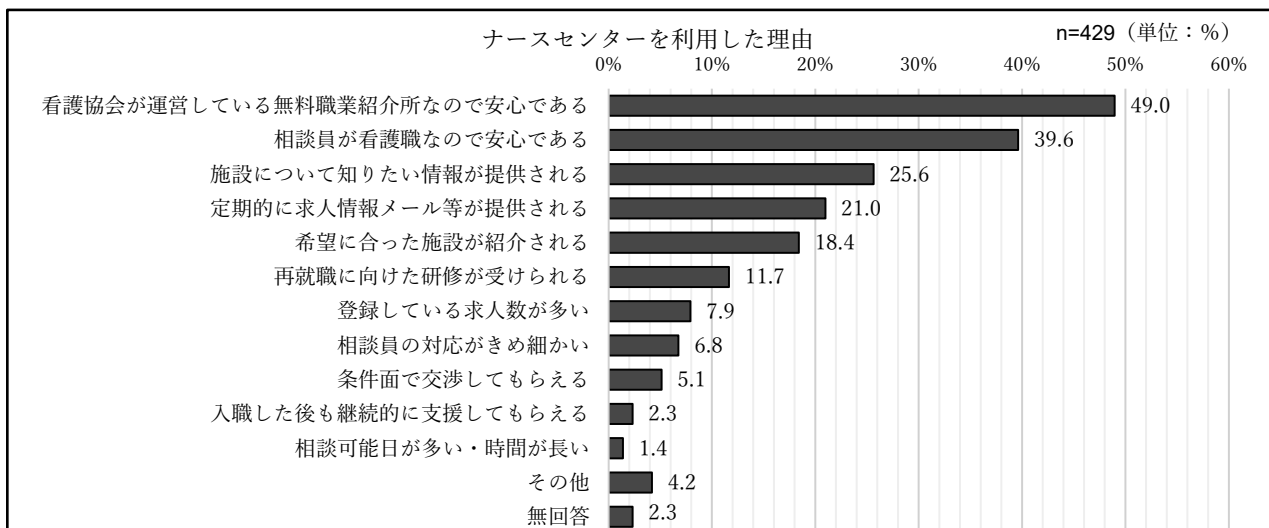
	全体	看護協会のホームページ	県行政のホームページ	ハローワークからの紹介	知り合い等からの紹介	前の職場ですめられた	インターネットの検索	新潟県の SNS	その他	無回答
上段：回答数	429	195	15	90	94	44	55	9	23	5
下段：割合 (%)	100.0	45.5	3.5	21.0	21.9	10.3	12.8	2.1	5.4	1.2

(3) ナースセンターの利用理由と今後希望する利用手段

利用理由は、「看護協会が運営している無料職業紹介所なので安心である」(49.0%) が最も多く、次いで「相談員が看護職なので安心である」(39.6%)、「施設について知りたい情報が提供される」(25.6%) であった。(図表 6)

また、希望する利用手段は「メール」(50.3%) が最も多く、次いで「LINE」(48.0%)、「対面」(35.4%) であった。年代別で多かったのは、30 歳代と 40 歳代で「LINE」、65~69 歳は「電話」、その他は「メール」であった。(図表 7)

図表6 ナースセンターを利用した理由（上位3つまでの複数回答）



図表7 今後希望する利用手段（年代別）（複数回答）

	全体	電話	対面	メール	Zoom	LINE	ショートメール	その他	無回答	
上段：回答数	429	146	152	216	36	206	53	6	9	
下段：割合 (%)	100.0	34.0	35.4	50.3	8.4	48.0	12.4	1.4	2.1	
年代別	20歳代	21	4	8	11	1	8	1	1	0
	30歳代	75	23	23	36	9	51	9	0	0
	40歳代	90	24	22	48	10	51	8	1	0
	50歳代	117	45	43	61	11	51	15	2	2
	60～64歳	63	24	31	36	3	21	13	0	1
	65～69歳	49	22	21	19	2	20	4	0	4
70歳以上	14	4	4	5	0	4	3	2	2	

2) 未就業看護職員 159 人の調査結果

(1) 回答者の属性

年代では、「50歳代」(22.6%)が最も多く、次いで「65～69歳」(19.5%)、「60～64歳」(18.2%)であった。(図表8)

離職期間は、3年未満が(58.5%)を占めた。年代別で最も多かった離職期間は、20歳代と40歳代、60～64歳は、「1年未満」、50歳代と65～69歳は「1～3年未満」、30歳代は「5～10年未満」であった。令和5年度調査と比較すると、今回の調査では「5～10年未満」の割合が多くなっていた。(図表9-1、2)

退職時の施設は、「病院(400床以上)」(19.5%)が最も多く、次いで「病院(199床以下)」(16.4%)、「病院(200～399床以下)」「診療所」(12.6%)であった。(図表10)

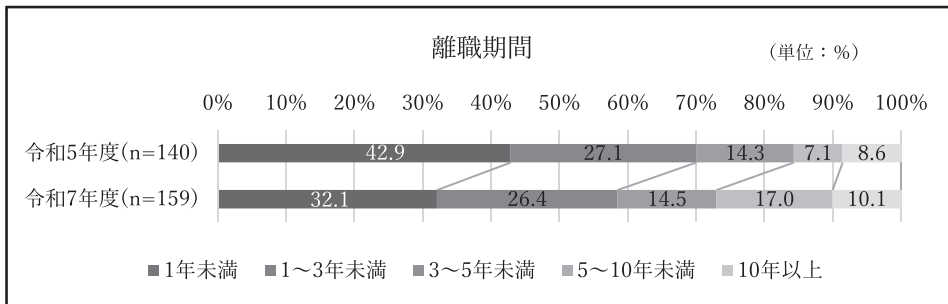
図表8 未就業のみの回答率（年代別）

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70歳以上
上段：回答数	159	8	19	28	36	29	31	8
下段：割合 (%)	100.0	5.0	11.9	17.6	22.6	18.2	19.5	5.0

図表9-1 離職期間（年代別）

	全体	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10年以上
上段：回答数	159	51	42	23	27	16
下段：割合 (%)	100.0	32.1	26.4	14.5	17.0	10.1
20歳代	8	7	0	1	0	0
30歳代	19	5	5	1	6	2
40歳代	28	13	6	3	2	4
50歳代	36	8	11	4	9	4
60～64歳	29	12	9	5	2	1
65～69歳	31	6	9	8	6	2
70歳以上	8	0	2	1	2	3

図表 9-2 離職期間（令和5年度調査との比較）



図表 10 退職時の施設

	全体	病院（199床以下）	病院（200～399床以下）	病院（400床以上）	診療所	介護老人保健施設	介護老人福祉施設（特養）	通所介護（デイサービス）	その他介護・福祉施設
上段：回答数	159	26	20	31	20	6	9	8	7
下段：割合（%）	100.0	16.4	12.6	19.5	12.6	3.8	5.7	5.0	4.4

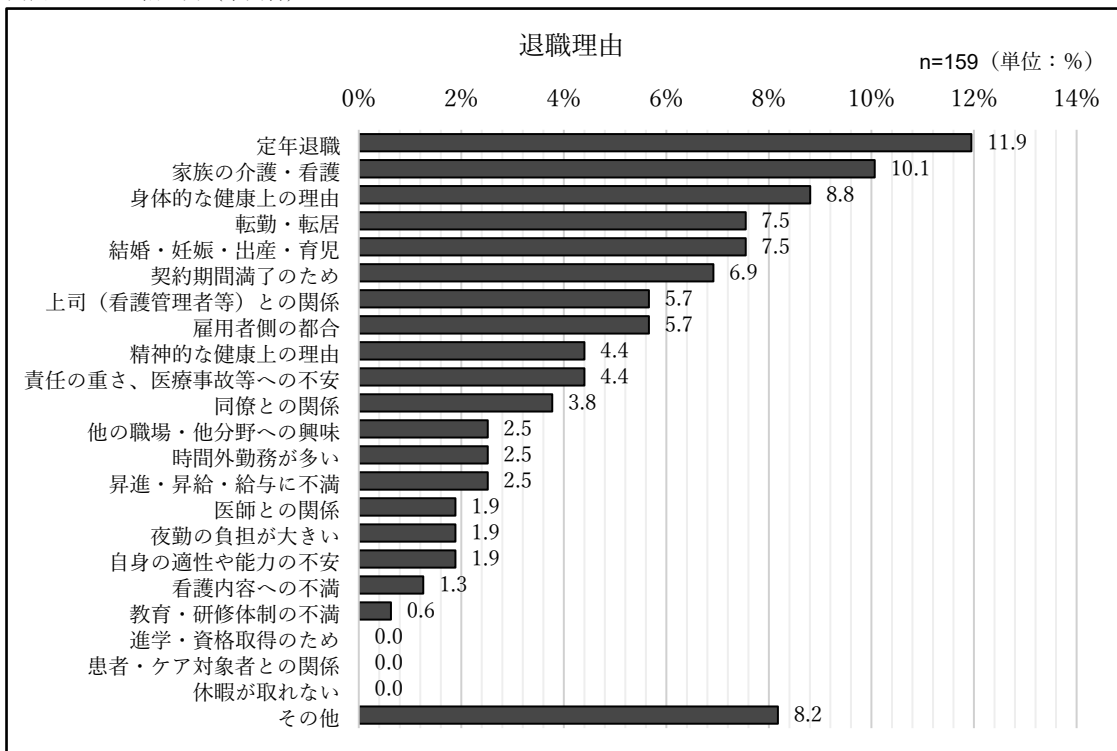
	訪問看護ステーション	行政（県・市区村・保健所等）	健診センター	企業・事業所	看護系教育機関	保育施設	小・中・高・特別支援学校	その他
	6	8	3	5	2	2	2	4
	3.8	5.0	1.9	3.1	1.3	1.3	1.3	2.5

(2) 退職理由（図表 11-1、2）

これまでに退職経験のある者の退職理由は、「定年退職」（11.9%）が最も多く、次いで「家族の介護・看護」（10.1%）、「身体的な健康上の理由」（8.8%）であった。

年代別で多かった理由は、20歳代～30歳代は「結婚・妊娠・出産・育児」「転勤・転居」、50歳代は「家族の介護・看護」「身体的な健康上の理由」、60歳～69歳は「定年退職」であった。

図表 11-1 退職理由（単回答）



○その他（自由記載の複数回答抜粋）

- ・孫の育児協力
- ・家庭の事情（家事負担の増加、家族との時間をもちたい）

図表 11-2 退職理由 上位 3 位 (年代別) (単回答)

年代別	1 位	2 位	3 位
20 歳代 (n=8)	結婚・妊娠・出産・育児 (25.0%) /	転勤・転居 (25.0%) /	精神的な健康上の理由 (25.0%)
30 歳代 (n=19)	結婚・妊娠・出産・育児 (31.6%)	転勤・転居 (26.3%)	上司 (看護管理者等) との関係 (15.8%)
40 歳代 (n=28)	転勤・転居 (14.3%)	家族の介護・看護(10.7%) /	同僚との関係(10.7%) / 雇用者側の都合(10.7%)
50 歳代 (n=36)	家族の介護・看護 (16.7%)	身体的な健康上の理由 (13.9%)	雇用者側の都合 (11.1%)
60～64 歳 (n=29)	定年退職 (31.0%)	契約期間満了のため (13.8%)	身体的な健康上の理由 (10.3%)
65～69 歳 (n=31)	定年退職 (25.8%)	家族の介護・看護 (16.1%) / その他 (16.1%)	
70 歳以上 (n=8)	その他 (37.5%)	定年退職 (25.0%) / 契約期間満了のため (25.0%)	
全体 (n=159)	定年退職 (11.9%)	家族の介護・看護 (10.1%)	身体的な健康上の理由 (8.8%)

(3) 1 年未満の退職 (以下、早期離職という) 経験の有無と理由

これまでの早期離職経験については、「ない」(66.0%)、「ある」(32.7%) であった。(図表 12)
 退職した施設は「通所介護 (デイサービス)」 (23.1%) が最も多く、次いで「診療所」(19.2%)、「病院 (199 床以下)」 「病院 (200～399 床以下)」(15.4%) であった。(図表 13)

その退職理由は、「同僚との関係」「その他」(9.6%) が最も多く、次いで「精神的な健康上の理由」「看護内容への不満」「時間外勤務が多い」(7.7%) であった。(図表 14)

図表 12 1 年未満の退職の有無

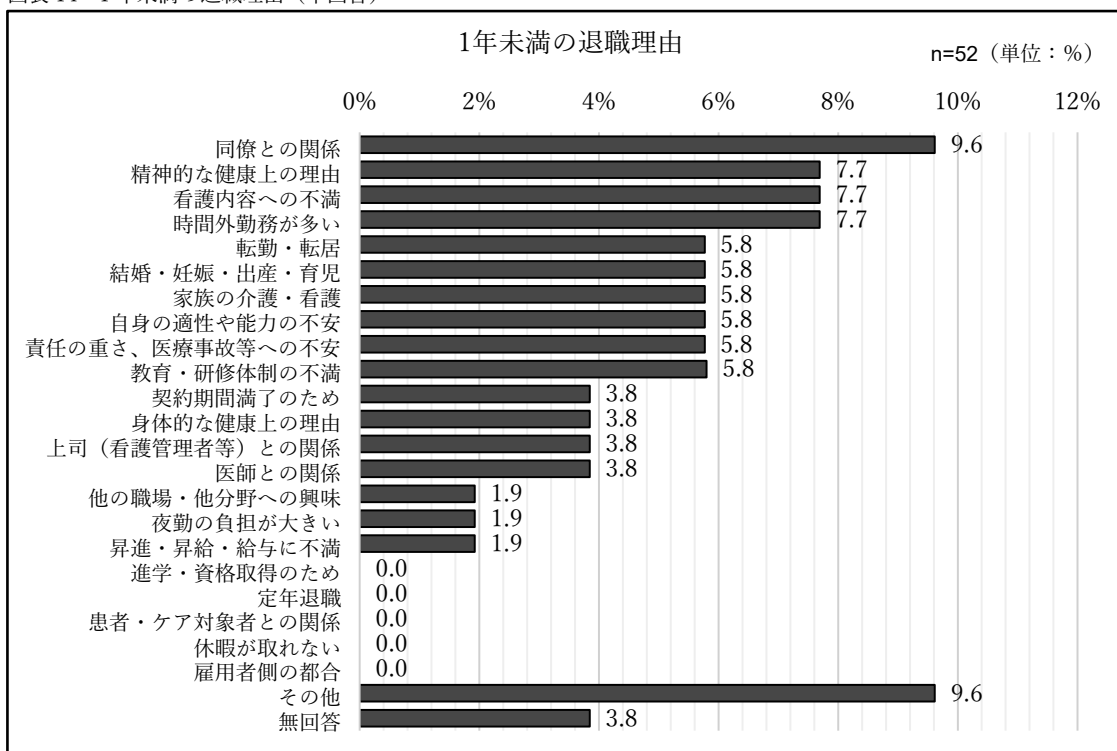
	全体	ある	ない	無回答
上段：回答数	159	52	105	2
下段：割合 (%)	100.0	32.7	66.0	1.3

図表 13 1 年未満の退職経験のある施設 (複数回答)

	全体	病院 (199 床以下)	病院 (200～399 床以下)	病院 (400 床以上)	診療所	介護老人保健施設	介護老人福祉施設 (特養)	通所介護 (デイサービス)	その他 介護・福祉施設
上段：回答数	52	8	8	6	10	3	5	12	7
下段：割合 (%)	100.0	15.4	15.4	11.5	19.2	5.8	9.6	23.1	13.5

	訪問看護ステーション	行政 (県・市区町村・保健所等)	健診センター	企業・事業所	看護系教育機関	保育施設	小・中・高・特別支援学校	その他
	3	6	2	1	0	1	1	0
	5.8	11.5	3.8	1.9	0.0	1.9	1.9	0.0

図表 14 1 年未満の退職理由 (単回答)



○その他 (自由記載の複数回答抜粋)

- ・通勤距離が難しい
- ・パワハラ

(4) 今後の看護職としての就業希望とその理由

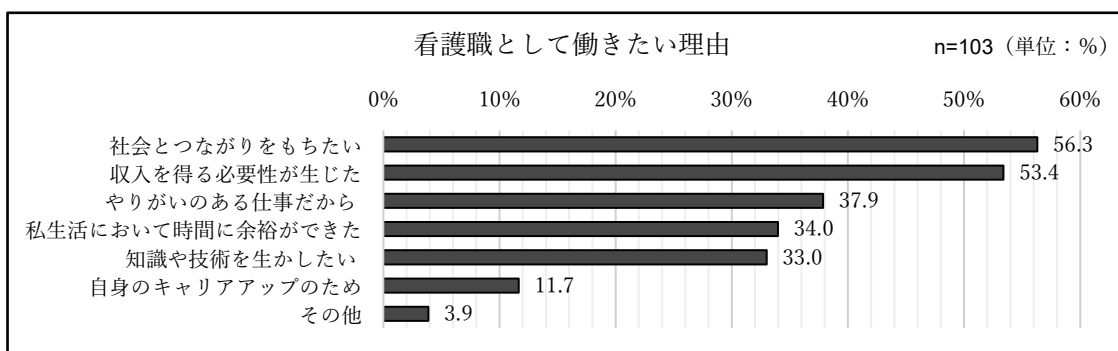
今後の看護職としての再就職希望は、64歳以下では、「就業希望あり」のほうが多く、65歳以上では「就業希望なし」が多かった。(図表15)

看護職として就業希望ありの理由は、「社会とつながりをもちたい」(56.3%)が最も多く、次いで「収入を得る必要性が生じた」(53.4%)、「やりがいのある仕事だから」(37.9%)であった。(図表16)

図表15 今後の就業希望(年代別)

		全体	すぐに就業したい	1年以内に就業したい	いずれ就業したい (1年以上後)	就業の希望なし	無回答
上段: 回答数		159	23	45	35	55	1
下段: 割合(%)		100.0	14.5	28.3	22.0	34.6	0.6
年代別	20歳代	8	1	4	0	3	0
	30歳代	19	2	4	8	5	0
	40歳代	28	8	13	4	3	0
	50歳代	36	7	11	13	5	0
	60~64歳	29	2	9	5	12	1
	65~69歳	31	2	2	5	22	0
	70歳以上	8	1	2	0	5	0

図表16 看護職として働きたい理由(複数回答)

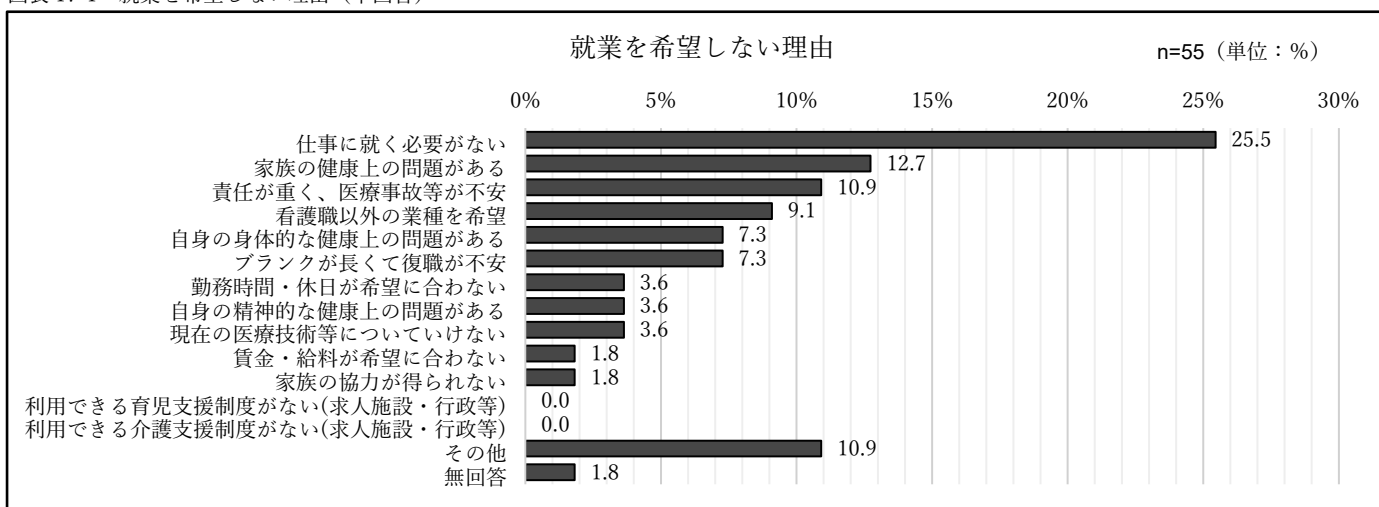


(5) 看護職として就業希望のない理由

今後の就業希望のない理由は、「仕事に就く必要がない」(25.5%)が最も多く、次いで「家族の健康上の問題がある」(12.7%)、「責任が重く、医療事故等が不安」(10.9%)であった。(図表17-1)

年代別で多かった理由は「その他」を除くと、20歳代は「責任が重く、医療事故等が不安」、30歳代は「ブランクが長くて復職が不安」、「看護職以外の業種を希望」、50歳代は「自身の精神的な健康上の問題がある」、「看護職以外の業種を希望」、60~69歳は「仕事に就く必要がない」であった。(図表17-2)

図表17-1 就業を希望しない理由(単回答)



○その他(自由記載の複数回答抜粋)

- ・高齢のため

図表 17-2 就業を希望しない理由（年代別）（単回答）

	全体	賃金・給料が希望に合わない	勤務時間・休日が希望に合わない	自身の身体的な健康上の問題がある	自身の精神的な健康上の問題がある	家族の健康上の問題がある	利用できる育児支援制度がない（求人施設・行政等）	利用できる介護支援制度がない（求人施設・行政等）
上段：回答数	55	1	2	4	2	7	0	0
下段：割合（%）	100.0	1.8	3.6	7.3	3.6	12.7	0.0	0.0
年代別	20歳代	3	0	0	0	0	0	0
	30歳代	5	0	0	0	0	0	0
	40歳代	3	1	1	0	0	0	0
	50歳代	5	0	0	0	2	1	0
	60～64歳	12	0	0	1	0	2	0
	65～69歳	22	0	1	3	0	4	0
	70歳以上	5	0	0	0	0	0	0

家族の協力が得られない	ブランクが長くて復職が不安	現在の医療技術等についていけない	仕事に就く必要がない	責任が重く、医療事故が不安	看護職以外の業種を希望	その他	無回答
1	4	2	14	6	5	6	1
1.8	7.3	3.6	25.5	10.9	9.1	10.9	1.8
0	0	0	0	2	0	1	0
1	2	0	0	0	2	0	0
0	0	0	0	1	0	0	0
0	0	0	0	0	2	0	0
0	0	1	3	3	0	2	0
0	2	1	10	0	0	0	1
0	0	0	1	0	1	3	0

（6）再就業で希望する条件

- 施設は「健診センター」（38.8%）が最も多く、次いで「通所介護（デイサービス）」（35.9%）、「診療所」（33.0%）であった。（図表 18）
- 雇用形態は「非常勤」（71.8%）が最も多く、年代別で多かった勤務形態は、30歳代と65～70歳代以上は、「日勤のみ（4h未満）」、40歳代～64歳までは「日勤のみ（4h～6h）」が多かった。
夜勤希望は20歳代と40歳代でみられ、全員が二交代制を希望した。（図表 19、20）
- 給与額はそれぞれ、月額「20～25万円未満」「25～30万円未満」、日給「1万円以上」、時間給「1500～2000円未満」が最も多かった。（図表 21-1、2、3）令和5年度調査と希望額を比較しても大きな変化はなかった。
- 再就職の際に重視する条件は、「職場の雰囲気や人間関係がよい」（59.2%）が最も多く、次いで「勤務時間・日数に柔軟性がある」（55.3%）、「通勤が便利」（50.5%）であった。（図表 22-1、2）

図表 18 希望する施設（複数回答）

	全体	急性期病院	慢性期病院	療養型病院	精神科病院	診療所	介護老人保健施設	介護老人福祉施設（特養）	通所介護（デイサービス）	その他介護・福祉施設
上段：回答数	103	5	18	18	5	34	20	17	37	17
下段：割合（%）	100.0	4.9	17.5	17.5	4.9	33.0	19.4	16.5	35.9	16.5

訪問看護ステーション	行政（県・市区町村・保健所等）	健診センター	企業・事業所（産業）	看護系教育機関	保育施設	小・中・高・特別支援学校	その他
9	31	40	21	11	14	7	4
8.7	30.1	38.8	20.4	10.7	13.6	6.8	3.9

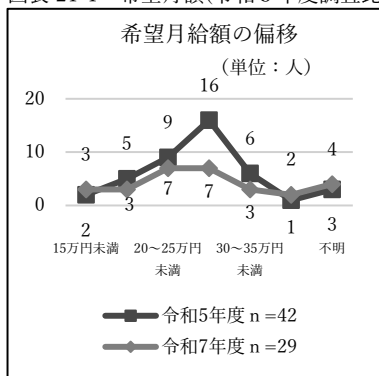
図表 19 希望する雇用形態（単回答）

		全体	常勤 (正規雇用)	常勤 (非正規のフルタイム)	非常勤 (短時間パートタイム)	臨時 (短期・単発等)
上段：回答数		103	18	4	74	7
下段：割合(%)		100.0	17.5	3.9	71.8	6.8
年代別	20歳代	5	5	0	0	0
	30歳代	14	1	0	13	0
	40歳代	25	7	2	15	1
	50歳代	31	4	0	24	3
	60～64歳	16	1	2	12	1
	65～69歳	9	0	0	7	2
	70歳以上	3	0	0	3	0

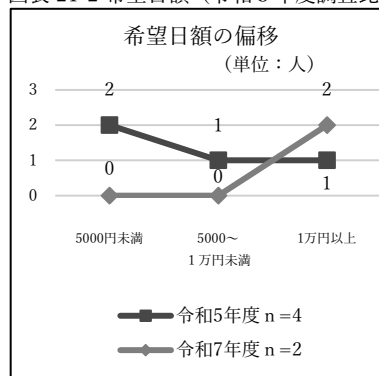
図表 20 希望する勤務形態（単回答）

		全体	二交代	三交代	夜勤のみ	日勤のみ (フルタイム)	日勤のみ (4h未満)	日勤のみ (4h～6h)	日勤+ オンコール	その他
上段：回答数		103	4	0	0	18	29	50	0	2
下段：割合(%)		100.0	3.9	0.0	0.0	17.5	28.2	48.5	0.0	1.9
年代別	20歳代	5	2	0	0	3	0	0	0	0
	30歳代	14	0	0	0	1	7	6	0	0
	40歳代	25	2	0	0	8	1	14	0	0
	50歳代	31	0	0	0	3	11	15	0	2
	60～64歳	16	0	0	0	3	3	10	0	0
	65～69歳	9	0	0	0	0	5	4	0	0
	70歳以上	3	0	0	0	0	2	1	0	0

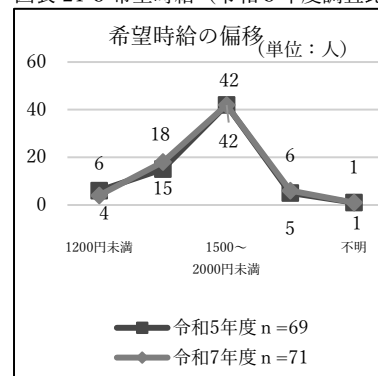
図表 21-1 希望月額（令和5年度調査比較）



図表 21-2 希望日額（令和5年度調査比較）

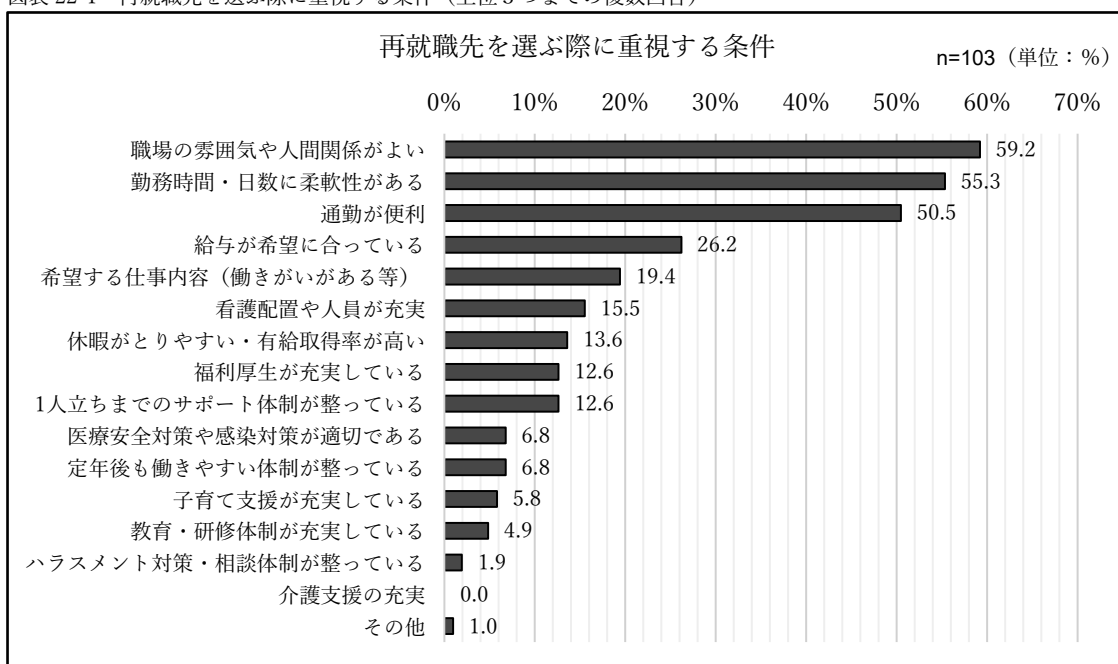


図表 21-3 希望時給（令和5年度調査比較）



※図表 21-1,2,3：令和7年度は未回答者1名

図表 22-1 再就職先を選ぶ際に重視する条件（上位3つまでの複数回答）



図表 22-2 再就職の際に重視する条件 上位3位（年代別）（上位3つまでの複数回答）

年代別	1位	2位	3位
20歳代（n=5）	給与が希望に合っている（60.0%） / 看護配置や人員が充実（60.0%）		勤務時間・日数に柔軟性がある / 福利厚生が充実している / 職場の雰囲気や人間関係がよい（全て40.0%）
30歳代（n=14）	勤務時間・日数に柔軟性がある（85.7%）	給与が希望に合っている（50.0%）	職場の雰囲気や人間関係がよい（42.9%）
40歳代（n=25）	職場の雰囲気や人間関係がよい（64.0%）	通勤が便利（52.0%）	勤務時間・日数に柔軟性がある（44.0%）
50歳代（n=31）	通勤が便利（51.6%） / 職場の雰囲気や人間関係がよい（51.6%）		勤務時間・日数に柔軟性がある（45.2%）
60～64歳（n=16）	職場の雰囲気や人間関係がよい（81.3%）	通勤が便利（75.0%）	勤務時間・日数に柔軟性がある（62.5%）
65～69歳（n=9）	職場の雰囲気や人間関係がよい（88.9%）	勤務時間・日数に柔軟性がある（77.8%）	通勤が便利（44.4%）
70歳以上（n=3）	通勤が便利（100.0%）	勤務時間・日数に柔軟性がある / 福利厚生が充実している / 希望する仕事内容（働きがいがある等） / 看護配置や人員が充実 / 教育・研修体制が充実している / 医療安全対策や感染対策が適切である（全て33.3%）	
全体（n=103）	職場の雰囲気や人間関係がよい（59.2%）	勤務時間・日数に柔軟性がある（55.3%）	通勤が便利（50.5%）

（7）新潟県ナースセンターの再就職支援セミナーについて

これまでの参加経験の有無については、「ない」（73.0%）、「ある」（25.8%）であった。（図表 23）
 参加経験がない理由は、「特に理由はない」（39.7%）が最も多く、次いで「日程が合わない（自身・家庭の都合）」（18.1%）、「開催していることを知らなかった」（12.9%）であった。（図表 24）

図表 23 再就職支援セミナーの参加経験の有無

		全体	ある	ない	無回答
上段：回答数		159	41	116	2
下段：割合(%)		100.0	25.8	73.0	1.3
年代別	20歳代	8	1	7	0
	30歳代	19	5	14	0
	40歳代	28	7	21	0
	50歳代	36	14	22	0
	60～64歳	29	10	19	0
	65～69歳	31	4	26	1
	70歳以上	8	0	7	1

図表 24 参加したことがない理由（単回答）

		全体	開催場所へのアクセスが悪い	開催回数が少ない	日程が合わない（自身・家庭の都合）	テーマに関心がない	復職へのブランク期間が長い	開催していることを知らなかった	研修を受ける必要がない	特に理由はない	その他
上段：回答数		116	6	1	21	1	11	15	10	46	5
下段：割合(%)		100.0	5.2	0.9	18.1	0.9	9.5	12.9	8.6	39.7	4.3
年代別	20歳代	7	1	0	1	0	1	2	0	2	0
	30歳代	14	0	0	2	0	2	3	0	7	0
	40歳代	21	4	0	3	1	2	0	1	9	1
	50歳代	22	1	0	5	0	2	3	1	8	2
	60～64歳	19	0	0	7	0	0	1	2	9	0
	65～69歳	26	0	0	3	0	4	4	4	10	1
	70歳以上	7	0	1	0	0	0	2	2	1	1
医療圏域別	下越	4	0	0	0	0	0	2	0	2	0
	新潟	63	1	0	12	0	8	10	3	27	2
	県央	10	1	1	1	0	1	2	0	3	1
	中越	16	2	0	5	1	1	0	2	5	0
	魚沼	5	0	0	1	0	0	0	3	0	1
	上越	18	2	0	2	0	1	1	2	9	1
	佐渡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（8）これまでに利用したことのある求職方法と今後利用したい求職方法とその理由

退職した施設を応募する際に利用した方法は、「ハローワーク」「知り合い等からの紹介」（27.7%）が最も多く、次いで「その他」（16.4%）であった。（図表 25）

また、今後利用したい方法は「ハローワーク」（69.8%）が最も多く、次いで「ナースセンター」（69.2%）、「知り合い等からの紹介」（25.2%）であった。年代別にみると、20歳代、60～69歳はナースセンター希望が最も多かった。（図表 26）

利用したい理由は「施設について知りたい情報が提供される」(37.1%)が最も多く、次いで「コンタクトをとりやすい」(34.0%)、「登録している求人数が多い」(28.3%)であった。(図表 27)

図表 25 退職した施設を応募する際に利用した方法(複数回答)

	全体	ナースセンター	ハローワーク	民間の職業紹介会社	知り合い等からの紹介	求人施設等のホームページ	求人広告・求人情報誌	就職ガイダンスや就職フェア等への参加	施設等の見学・体験の受け入れ	その他	無回答
上段: 回答数	159	17	44	14	44	10	10	5	13	26	3
下段: 割合(%)	100.0	10.7	27.7	8.8	27.7	6.3	6.3	3.1	8.2	16.4	1.9
年代別	20歳代	8	1	1	1	0	0	0	3	1	0
	30歳代	19	4	4	4	2	2	0	5	2	0
	40歳代	28	3	10	4	3	2	1	5	4	0
	50歳代	36	4	12	4	8	5	4	0	6	1
	60~64歳	29	2	8	1	10	0	5	1	0	0
	65~69歳	31	2	8	0	17	0	0	0	7	1
	70歳以上	8	1	1	0	3	1	0	0	1	1

○その他(自由記載の複数回答抜粋)

- ・自分で探し、直接連絡した
- ・学校卒業後の新卒採用

図表 26 今後利用したい方法(上位3つまでの複数回答)

	全体	ナースセンター	ハローワーク	民間の職業紹介会社	知り合い等からの紹介	求人施設等のホームページ	求人広告・求人情報誌	就職ガイダンスや就職フェア等への参加	施設等の見学・体験の受け入れ	その他	無回答
上段: 回答数	159	110	111	34	40	19	24	10	19	8	5
下段: 割合(%)	100.0	69.2	69.8	21.4	25.2	11.9	15.1	6.3	11.9	5.0	3.1
年代別	20歳代	8	6	5	0	1	2	1	2	1	0
	30歳代	19	12	14	8	4	3	3	3	1	0
	40歳代	28	22	23	8	7	4	3	3	0	0
	50歳代	36	25	30	11	8	3	7	3	4	0
	60~64歳	29	20	19	2	7	3	8	2	4	0
	65~69歳	31	22	17	5	13	4	2	1	3	2
	70歳以上	8	3	3	0	0	0	0	0	2	2

○その他(自由記載の複数回答抜粋)

- ・看護師としての就業希望なし

図表 27 今後利用したいと考える理由(上位3つまでの複数回答)

年代別	1位	2位	3位
20歳代(n=8)	コンタクトをとりやすい(62.5%)	相談員が看護職なので安心である(37.5%)	その他(25.0%)
30歳代(n=19)	コンタクトをとりやすい(47.4%) / 施設について知りたい情報が提供される(47.4%)	施設について知りたい情報が提供される(39.3%)	登録している求人数が多い(31.6%) / 希望に合った施設が紹介される(31.6%)
40歳代(n=28)	コンタクトをとりやすい(42.9%)	施設について知りたい情報が提供される(39.3%)	希望に合った施設が紹介される(32.1%)
50歳代(n=36)	施設について知りたい情報が提供される(41.7%)	登録している求人数が多い(38.9%)	コンタクトをとりやすい(30.6%) / 定期的に求人情報メール等が提供される(30.6%)
60~64歳(n=29)	登録している求人数が多い(31.0%) / 施設について知りたい情報が提供される(31.0%)	施設について知りたい情報が提供される(31.0%)	希望に合った施設が紹介される(31.0%)
65~69歳(n=31)	施設について知りたい情報が提供される(38.7%)	相談員が看護職なので安心である(35.5%)	登録している求人数が多い(32.3%)
70歳以上(n=8)	コンタクトをとりやすい(25.0%) / 無回答(25.0%)	施設について知りたい情報が提供される(25.0%)	その他(25.0%) / 登録している求人数が多い(28.3%)
全体(n=159)	施設について知りたい情報が提供される(37.1%)	コンタクトをとりやすい(34.0%)	登録している求人数が多い(28.3%)

○その他(自由記載の複数回答抜粋)

- ・看護師としての就業希望なし

令和7年度未就業看護職員実態調査

新潟県ナースセンター

ご回答は同封した「回答方法のご案内」に記載いたしました URL または新潟県看護協会のホームページ「実態調査ページ」にご回答ください。令和7年度実態調査のお願いからアクセスいただき、ご回答願います。インターネットからの回答ができない場合、調査票にご記入いただき、返信用封筒で返送願います。

- ※令和7年7月1日の時点での状況でお答えください。
- ※各質問に対して、あてはまる選択肢の番号に○をおよび必要事項をご記入ください。
- ※回答内容は統計処理し、個人に関する情報は消去します。個人を特定するようなことはありません。

問1. 年代を教えてください (1つ選択)

1. 20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代	4. 50歳代	5. 60～64歳	6. 65～69歳	7. 70歳以上
---------	---------	---------	---------	-----------	-----------	----------

問2. 現在の居住地を教えてください (1つ選択)

下越	1. 村上市	2. 関川村	3. 粟島浦村	4. 胎内市	5. 新発田市	6. 聖籠町
新潟	7. 新潟市	8. 阿賀野市	9. 阿賀町	10. 五泉市		
県央	11. 燕市	12. 三条市	13. 弥彦村	14. 加茂市	15. 田上町	
中越	16. 見附市	17. 長岡市	18. 出雲崎町	19. 小千谷市	20. 柏崎市	21. 刈羽村
魚沼	22. 魚沼市	23. 南魚沼市	24. 湯沢町	25. 十日町市	26. 津南町	
上越	27. 上越市	28. 妙高市	29. 糸魚川市			
佐渡	30. 佐渡市					

問3. これまでの看護職としての通算経験年数を教えてください (1つ選択)

1. 1年未満	2. 1～3年以下	3. 4～6年以下	4. 7～9年以下
5. 10～14年以下	6. 15～19年以下	7. 20年以上	

問4. 最も看護職経験のある資格は次のどれですか。 (1つ選択)

1. 保健師	2. 助産師	3. 看護師	4. 准看護師
--------	--------	--------	---------

問5. 現在の就業状況を教えてください (1つ選択)

1. 就業している	⇒ 問23へ			
2. 就業していない (下記の未就業の期間もご回答ください) (1つ選択)				
① 1年未満	② 1～3年未満	③ 3～5年未満	④ 5～10年未満	⑤ 10年以上

問5で「2. 就業していない」と回答した方に伺います

問6. 最後に退職した施設を教えてください (1つ選択)

1. 病院 (199床以下)	2. 病院 (200～399床以下)	3. 病院 (400床以上)
4. 診療所	5. 介護老人保健施設	6. 介護老人福祉施設 (特養)
7. 通所介護 (デイサービス)	8. その他介護・福祉施設	9. 訪問看護ステーション
10. 行政 (県・市区町村・保健所等)	11. 健診センター	12. 企業・事業所
13. 看護系教育機関	14. 保育施設	15. 小・中・高・特別支援学校
16. その他 ()		

問7. 最後に退職した施設での雇用形態を教えてください (1つ選択)

1. 常勤 (正規雇用)	2. 常勤 (非正規のフルタイム)	3. 非常勤 (短時間パートタイム等)
--------------	-------------------	---------------------

問8-①. 最後の就業先を退職した理由であてはまるものを教えてください (特にあてはまるものを上位3つまで選択)

1. 他の職場・他分野への興味	2. 転勤・転居	3. 結婚・妊娠・出産・育児
4. 進学・資格取得のため	5. 家族の介護・看護	6. 定年退職
7. 契約期間満了のため	8. 定年	9. 精神的な健康上の理由
10. 身体的な健康上の理由	11. 同僚との関係	12. 上司 (看護管理者等) との関係
13. 患者・ケア対象者との関係	14. 医師との関係	15. 夜勤の負担が大きい
16. 看護内容への不満	17. 時間外勤務が多い	18. 休暇が取れない
19. 昇進・昇給・給与に不満	20. 教育・研修体制の不満	21. 自身の適性や能力の不安
22. 責任の重さ、医療事故等への不安	23. 雇用者側の都合	24. その他 ()

問8-②. 問8-①で選んだ3つの中で、最も当てはまる退職理由を1つだけ選んで数字を記入してください。

【1年未満の退職経験について伺います】

問9. これまで就業した勤務先で、1年未満で退職した施設はありましたか (1つ選択)

1. ある	2. ない ⇒ 問12へ
-------	--------------

問9で「1. ある」と回答した方に伺います

問10. 1年未満で退職した施設を教えてください (あてはまるものをすべて選択)

1. 病院 (199床以下)	2. 病院 (200～399床以下)	3. 病院 (400床以上)
4. 診療所	5. 介護老人保健施設	6. 介護老人福祉施設 (特養)
7. 通所介護 (デイサービス)	8. その他介護・福祉施設	9. 訪問看護ステーション
10. 行政 (県・市区町村・保健所等)	11. 健診センター	12. 企業・事業所
13. 看護系教育機関	14. 保育施設	15. 小・中・高・特別支援学校
16. その他 ()		

問11-①. 1年未満で退職した理由であてはまるものを教えてください (特にあてはまるものを上位3つまで選択)

1. 他の職場・他分野への興味	2. 転勤・転居	3. 結婚・妊娠・出産・育児
4. 進学・資格取得のため	5. 家族の介護・看護	6. 定年退職
7. 契約期間満了のため	8. 定年	9. 精神的な健康上の理由
10. 身体的な健康上の理由	11. 同僚との関係	12. 上司 (看護管理者等) との関係
13. 患者・ケア対象者との関係	14. 医師との関係	15. 夜勤の負担が大きい
16. 看護内容への不満	17. 時間外勤務が多い	18. 休暇が取れない
19. 昇進・昇給・給与に不満	20. 教育・研修体制の不満	21. 自身の適性や能力の不安
22. 責任の重さ、医療事故等への不安	23. 雇用者側の都合	24. その他 ()

問11-②. 問11-①で選んだ3つの中で、最も当てはまる退職理由を1つだけ選んで数字を記入してください。

【就業希望について伺います】

問 12. 現在、就業の希望はありますか (1つ選択)

- | | |
|------------------------------|------------------------|
| 1. すぐに就業したい ⇒ 問 14 ハ | 2. 1年以内に就業したい ⇒ 問 14 ハ |
| 3. いずれ就業したい (1年以上後) ⇒ 問 14 ハ | 4. 就業の希望なし ⇒ 問 13 ハ |

問 12. で「4. 就業の希望なし」と回答した方に伺います

問 13. 希望なしの理由で最も近いものを選択してください (1つ選択)

- | | | |
|------------------------------|-----------------------|------------------------------|
| 1. 賃金・給料が希望に合わない | 2. 勤務時間・休日・休暇が希望に合わない | 3. 自身の身体的な健康上の問題がある |
| 4. 自身の精神的な健康上の問題がある | 5. 家族の健康上の問題がある | 6. 利用できる育児支援制度がない (求人施設・行政等) |
| 7. 利用できる介護支援制度がない (求人施設・行政等) | 8. 家族の協力が得られない | 9. プラングが長くて復職が不安 |
| 10. 現在の医療技術等についていけない | 11. 仕事に就く必要がない | 12. 責任が重く、医療事故等が不安 |
| 13. 看護職以外の業種を希望 | 14. その他 () | |

※回答後 ⇒ 問 17 ハ

問 12. で「1~3. 就業したい」と回答した方に伺います

問 14. 看護職としてまた働きたい理由を教えてください (あてはまるものすべて選択)

- | | | |
|------------------|-----------------|---------------------|
| 1. 収入を得る必要性が生じた | 2. やりがいのある仕事だから | 3. 知識や技術を生かしたい |
| 4. 自身のキャリアアップのため | 5. 社会とつながりをもたい | 6. 私生活において時間に余裕ができた |
| 7. その他 () | | |

問 15-① 就業を希望する施設を教えてください (あてはまるものすべて選択)

- | | | |
|------------------|----------------------|---------------|
| 1. 急性期病院 | 2. 慢性期病院 | 3. 療養型病院 |
| 4. 精神科病院 | 5. 診療所 | 6. 介護老人保健施設 |
| 7. 介護老人福祉施設 (特養) | 8. 通所介護 (デイサービス) | 9. その他介護・福祉施設 |
| 10. 訪問看護ステーション | 11. 行政 (県・市区町村・保健所等) | 12. 健診センター |
| 13. 企業・事業所 (産業) | 14. 看護系教育機関 | 15. 保育施設 |
| 16. 小・中・高・特別支援学校 | 17. その他 () | |

問 15-② 希望する職種 (1つ選択)

- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1. 保健師 | 2. 助産師 | 3. 看護師 | 4. 准看護師 |
|--------|--------|--------|---------|

問 15-③ 希望する雇用形態 (1つ選択)

- | | | |
|----------------|------------------|--------------------|
| 1. 常勤 (正規雇用) | 2. 常勤 (非正規フルタイム) | 3. 非常勤 (短時間パートタイム) |
| 4. 臨時 (短期・単発等) | | |

問 15-④ 希望する勤務形態 (1つ選択)

- | | | | |
|----------------|-----------------|-------------|-----------------|
| 1. 二交代制 | 2. 三交代制 | 3. 夜勤のみ | 4. 日勤のみ (フルタイム) |
| 5. 日勤のみ (4h未満) | 6. 日勤のみ (4h~6h) | 7. 日勤+オンコール | 8. その他 () |

問 15-⑤ 希望する給与額 (希望する給与形態を1つ選び、希望する金額を基本給を基準に記入してください)

- | | | |
|----------------|------------|-------------|
| 1. 月給※基本給 (円) | 2. 日給 (円) | 3. 時間給 (円) |
|----------------|------------|-------------|

問 15-⑥ 希望する週休 (1つ選択)

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1. 4週8休 (完全週休2日制) | 2. 4週6休 (隔週週休2日制) |
| 3. こだわらない | 4. その他 (パート等で少ない就業日数を希望) |

問 16. 再就職先を選ぶ条件として重視するものを教えてください (特にあるものはまるものを上位3つまで選択)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 給与が希望に合っている | 2. 勤務時間・日数に柔軟性がある |
| 3. 福利厚生が充実している | 4. 通勤が便利 |
| 5. 希望する仕事内容 (働きがいがある等) | 6. 看護配置や人員が充実 |
| 7. 教育・研修体制が充実している | 8. 1人立ちまでのサポート体制が整っている |
| 9. 医療安全対策や感染対策が適切である | 10. 子育て支援が充実している |
| 11. 介護支援の充実 | 12. 休暇がとりやすい・有給取得率が高い |
| 13. 職場の雰囲気や人間関係がよい | 14. 定年後も働きたい体制が整っている |
| 15. ハラスメント対策・相談体制が整っている | 16. その他 () |

【再就職支援セミナーについて伺います】

問 17. これまで新潟県ナースセンターの再就職支援セミナーに参加したことがありますか (1つ選択)

- | | |
|----------------|-------|
| 1. ある ⇒ 問 20 ハ | 2. ない |
|----------------|-------|

問 17. で「2. ない」と回答した方に伺います

問 18. 再就職支援セミナーに参加しない理由で最も近いものを選択してください (1つ選択)

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 開催場所へのアクセスが悪い | 2. 開催回数が少ない |
| 3. 日程が合わない (自身・家庭の都合) | 4. テーマに関心がない |
| 5. 復職へのプランク期間が長い | 6. 開催していることを知らなかった |
| 7. 研修を受ける必要がない | 8. 特に理由はない |
| 9. その他 () | |

※「4. テーマに関心がない」以外の回答 ⇒ 問 20 ハ

問 18. で「4. テーマに関心がない」と回答した方に伺います

問 19. どのような内容なら参加したいと思いますか (あてはまるものすべて選択)

- | | | |
|--------------------|------------------|----------------|
| 1. 採血・点滴等の実技 | 2. 感染管理に関する知識 | 3. 薬剤に関する知識 |
| 4. 医療安全に関する知識 | 5. ITに関する知識・技術 | 6. 定年後の働き方 |
| 7. 病院、施設等での見学・体験実習 | 8. 専門分野に関する知識・技術 | 9. 応募書類の書き方、面接 |
| 10. その他 () | | |

【求職活動について伺います】

問 20. 最後に返職した勤務先はどのような方法で応募に至りましたか (あてはまるものすべて選択)

- | | | |
|-----------------------|-------------------|---------------|
| 1. ナースセンター | 2. ハローワーク | 3. 民間の職業紹介会社 |
| 4. 知り合い等からの紹介 | 5. 求人施設等のホームページ | 6. 求人広告・求人情報誌 |
| 7. 就職ガイダンスや就職フェア等への参加 | 8. 施設等の見学・体験の受け入れ | 9. その他 () |

問 21. 今後、再就職先を探す際にご利用したいと思うものについて教えてください。(特にあてはまるものを上位3つまで選択)

- | | | |
|-----------------------|-------------------|---------------|
| 1. ナースセンター | 2. ハローワーク | 3. 民間の職業紹介会社 |
| 4. 知り合い等からの紹介 | 5. 求人施設等のホームページ | 6. 求人広告・求人情報誌 |
| 7. 就職ガイダンスや就職フェア等への参加 | 8. 施設等の見学・体験の受け入れ | 9. その他 () |

問 22. 今後利用したいと回答した理由について教えてください(特にあてはまるものを上位3つまで選択)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 登録している求人数が多い | 2. コンタクトをとりやすい |
| 3. 施設について知りたい情報が提供される | 4. 希望に合った施設が紹介される |
| 5. 定期的に求人情報メール等が提供される | 6. 入職した後も継続的に支援してもらえる |
| 7. 相談員の対応がきめ細かい | 8. 相談員が看護職なので安心である |
| 9. 再就職に向けた研修が受けられる | 10. 条件面で交渉してもらえる |
| 11. 見学や面接までの設定がスムーズ | 12. 見学や面接に同行してもらえる |
| 13. その他 () | |

【ナースセンターの利用についてお伺いします】

問 23. ナースセンターは何で知りましたか(あてはまるものをすべて選択)

- | | | |
|----------------|---------------|----------------|
| 1. 看護協会のホームページ | 2. 県行政のホームページ | 3. ハローワークからの紹介 |
| 4. 知り合い等からの紹介 | 5. 前の職場ですめられた | 6. インターネットの検索 |
| 7. 新潟県の SNS | 8. その他 () | |

問 24. ナースセンターを利用した理由をお聞かせください(特にあてはまるものを上位3つまで選択)

- | | |
|--------------------------------|-----------------------|
| 1. 相談員が看護職なので安心である | 2. 希望に合った施設が紹介される |
| 3. 施設について知りたい情報が提供される | 4. 相談可能日が多い・時間が長い |
| 5. 定期的に求人情報メール等が提供される | 6. 入職した後も継続的に支援してもらえる |
| 7. 相談員の対応がきめ細かい | 8. 登録している求人数が多い |
| 9. 再就職に向けた研修が受けられる | 10. 条件面で交渉してもらえる |
| 11. 看護協会が運営している無料職業紹介所なので安心である | |
| 12. その他 () | |

問 25. ナースセンターでの相談や問い合わせ手段として、特に活用したい・あったら利用しやすいと思うものはどれですか(あてはまるものをすべて選択)

- | | | |
|------------|---------|------------|
| 1. 電話 | 2. 対面 | 3. メール |
| 4. Zoom | 5. LINE | 6. ショートメール |
| 7. その他 () | | |

問 26. ナースセンターへの期待や要望がありましたらお書きください

--

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

IV 再就業移動相談事業

1 目的

ナースセンターから遠い地域や平日に来所できない就業希望者の就業を促進するため、地域に出向き相談会を実施し、ナースバンクへの登録及び就業を促進する。

2 実施状況

開催日	イベント名	主催	会場	参加人数	相談件数
5月18日	福祉のしごと就職フェア in 新潟	新潟県 新潟県社会福祉協議会他	朱鷺メッセ	69	2
6月8日	福祉のしごと就職フェア in 長岡	新潟県 新潟県社会福祉協議会他	ハイブ長岡	20	0
6月21日	福祉のしごと就職フェア in 上越	新潟県 新潟県社会福祉協議会他	ワークバル上越	13	0
9月27日	福祉のしごと就職フェア in 新潟	新潟県 新潟県社会福祉協議会他	新潟ユニゾンプラザ	43	0
11月8日	介護就職デイ	新潟公共職業安定所	新潟テクノスクール	43	7
2月7日	福祉のしごと就職フェア in 新潟	新潟県 新潟県社会福祉協議会他	新潟ユニゾンプラザ	53	0
3月14日	福祉のしごと就職フェア in 新潟	新潟県 新潟県社会福祉協議会他	新潟ユニゾンプラザ	60	0
計				7	301

○「U・Iターン就職個別オンライン相談会」：相談者は0名

V ナースセンター事業運営協議会

1 目的

新潟県ナースセンター事業の円滑かつ効果的な運営を行うために、新潟県関係機関の職員をメンバーとして運営会議を設置し、事業の運営状況や今後に向けた検討、情報交換を行う。

2 委員名簿（令和8年3月31日現在）

役職	氏名	所属先	所属先役職
委員長	池田 良美	公益社団法人新潟県看護協会	会長
副委員長	中丸 昌雄	新潟県福祉保健部 医師・看護職員確保対策課	課長
委員	中平 浩人	新潟県医師会 新潟青陵大学大学院看護学研究科	理事 教授
委員	阪井 敏男	新潟県病院協会	事務局長
委員	落合 直樹	新潟労働局職業安定部 職業安定課	課長
委員	松井 裕	新潟県老人福祉施設協議会	副会長
委員	高橋 直美	新潟県訪問看護ステーション協議会	常任理事
委員	白砂 由美子	西蒲中央病院	看護部長補佐
委員	深澤 恵	医療法人立川メディカルセンター	看護部長

3 開催状況

- 1) 開催月日：令和7年8月19日（火）
- 2) 会場：公益社団法人新潟県看護協会 2F 中研修室
- 3) 内容
 - (1) 新潟県ナースセンター令和6年度事業報告および令和7年度取り組み目標
 - (2) 協議事項
看護補助者の確保のために、ナースセンターを看護職のみならず広く一般の人に知ってもらうための方策について
 - (3) 事務局から情報提供

VI 広報活動

1 目的

ナースセンターの認知度向上及び登録促進のため、訴求力のある広報を実施する。

1) 「新潟県ナースセンターだより」の発行

(1) 発行回数および時期：年1回 12月（第60号）

(2) 配布方法

冊子送付：1,389部、メール配信：459件

他：就業相談者、セミナー受講者等に対面時に手交

(3) 主な配布先

e ナースセンター登録者、病院、訪問看護ステーション、診療所、健診センター、
看護師等学校養成所、新潟県医師・看護職員確保対策課、保健所、市町村、新潟県医師会、
新潟県病院協会、新潟県労働局職業安定課、県内ハローワーク、
ナースセンター事業運営協議会委員、各都道府県ナースセンター など
その他、新潟県老人福祉施設協議会から福祉施設宛てにメール配信を依頼

(4) 内容

- ・ナースセンターは看護職のサポーターです！
- ・仕事を辞めた時は、「届出」登録にご協力ください！
- ・再就職へのステップ
- ・いつでも、あなたの「働きたい」のお手伝いをしています
- ・看護職の人材をお探しの求人施設の皆様
- ・ナースセンター相談員によるハローワークでのお仕事相談会予定
- ・「新潟県ナースセンターだより」はメルマガ配信サービスを始めました
- ・ナースセンターが開催している研修会について ～看護職員再就職支援セミナー～
- ・看護補助者の就業支援
- ・訪問看護関連研修のご案内

2) 新潟県看護協会広報誌 看護にいがた

- ・看護にいがた 162号（令和7年5月20日発行）
- ・看護にいがた 163号（令和7年8月20日発行）
- ・看護にいがた 164号（令和7年11月20日発行）
- ・看護にいがた 165号（令和8年2月20日発行）

Ⅶ 看護補助者の確保に向けた周知

令和6年度日本看護協会委託事業「看護補助者の確保・定着推進事業」として実施した看護補助者の周知活動は、令和7年度から新潟県委託事業となった。

4月	“看護補助者のしごと説明会”の準備・周知、周知ポスターを関係機関に貼付依頼 ①ハローワークに、来訪者への案内として“看護補助者のしごと説明会”チラシの設置および周知を依頼 ②ホームページに、看護補助者の関連情報を掲載開始（随時、更新）、および会場周辺駅へ周知ポスターの掲示
9～10月	ナースセンター・ハローワーク共催“看護補助者のしごと説明会” 10会場で開催

1 看護補助者のしごと説明会

1) 目的

一般の方を対象に、病院等ではたらく看護補助者（看護助手）の業務理解を促し、就業への動機づけの機会とすることを目的として説明会を実施する。

2) 各会場の申込者数と参加者数

開催日	開催会場	申込者数	参加者数
9月 3日（水）	ハローワーク上越	13	11
9月 17日（水）	厚生連柏崎総合医療センター	1	1
9月 18日（木）	魚沼基幹病院	3	3
9月 25日（木）	立川総合病院	13	10
9月 26日（金）	ハローワーク新発田	10	8
9月 29日（月）	済生会新潟病院	13	11
10月 9日（木）	済生会県央基幹病院	9	6
10月 10日（金）	ハローワーク新津	9	6
10月 17日（金）	ハローワーク佐渡	4	3
10月 27日（月）	厚生連新潟医療センター	10	9
計		85	68

参加者 68 人の背景

年代	20代	30代	40代	50代	60代以上	性別	男性	女性
人数	1	4	8	34	21	人数	5	63
割合（％）	1.5	5.9	11.8	50.0	30.9	割合（％）	7.4	92.6

3) 開催における工夫点

病院会場では、院内見学、看護補助者の働いている様子を見学、環境整備やシーツ交換の演習、ハローワーク会場でも車椅子の介助、手洗い、トロミ食の調合・試飲等、看護補助者のしごとをより理解できる工夫があり、参加者は、積極的に取り組んでいた。



4) 参加者アンケート結果（回収率 100%）

- ・内容の評価としては、講義「看護補助者の役割や業務内容」は、「大変理解できた」64.7%「まあまあ理解できた」35.3%、看護補助者の体験談は、「大変参考になった」86.8%（59人）と好評であった。
- ・病院開催の参加者が一番参考になったことは、「働く現場が見れた」ことを上げていた。78.0%
- ・満足度は、「大変満足」79.4%（前年 67%）、「まあまあ満足」20.6%を併せると 100%と高評価であった。

5) 結果（成果）

- ・ハローワークから求職者への説明会の紹介が最も効果があった。また、意見交換の場や看護補助者からの体験談の共有、さらに病院が会場だった説明会では、仕事内容の理解が深まり、個別の不安解消にも繋がりが好評であった。
- ・労働局職業安定課によると、参加者 68 名のうち 3 月末で 2 名が病院等に看護補助者として就職した。

6) 課題

- ・令和 8 年度 4 月から看護補助者の無料職業紹介開始となることから、さらに、ハローワークとの連携強化に努め、求人施設への登録促進、「看護補助者のしごと説明会」の機会を活かして看護補助者確保につなげる。

2 ナースセンターによる看護補助者の就業に向けた研修（オンデマンド）

1) 目的

看護補助者として就業を希望する方に、看護補助者の業務について理解した上で従事できるよう学習の場を提供し、求職活動に活かしてもらうことを目的とする。

2) 受講者数

受講方法	開催日	場所	申込者数	受講者数
集合研修	7月30日（水）	長岡市さいわいプラザ	1	1
	9月30日（火）	上越市市民プラザ	0	0
	11月5日（水）	新潟県看護研修センター	3	3
自己研修	受講期間	7月1日～1月末	3	2

3) 研修内容

- ・医療チームの機能と役割（30分）
- ・看護補助者の業務（30分）
- ・看護補助者としての心得（30分）

○要件を満たした方には「修了証」を発行

4) 結果

- ・看護補助者のしごと説明会と同様にチラシ・ポスターを作成し、各ハローワーク、ナースセンター、駅などに掲示し来所者等に案内してきたが、前年受講者数 11 名に比べ 6 名と受講者が少なかった。

5) 課題

- ・看護補助者として就労しようと思う方が少しでも増えるように広報・周知を図っていく。



看護職員再就業支援強化事業

I 看護職員再就職支援セミナー

1 目的

未就業看護職を対象として、看護に関する基礎的な知識および技術に関するセミナーを実施し、再就職を支援する。

2 対象者

再就職を希望する保健師、助産師、看護師、准看護師の資格をもつ未就業者

3 実施内容

1) eラーニング：看護職向けの講義等のネット配信サービス

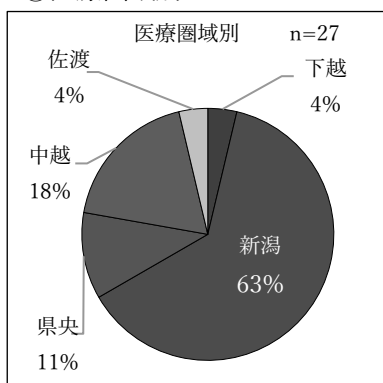
(1) 実施期間：令和7年5月1日～令和8年3月31日

(2) 受講者の状況

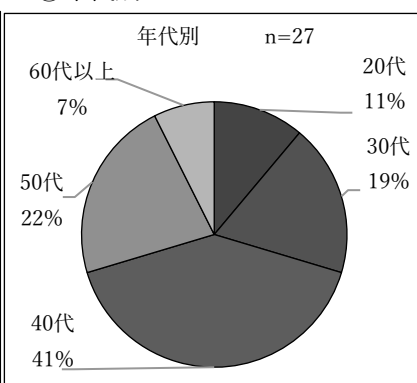
①受講者数と就職者数

受講者数	就職者数（就職率）
27	14（51.9%）

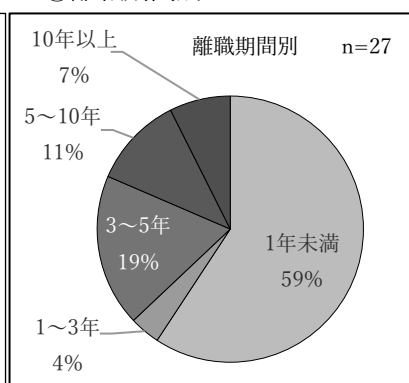
②医療圏域別



③年代別

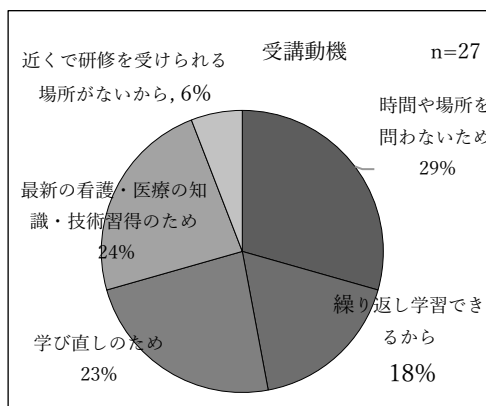


④離職期間別

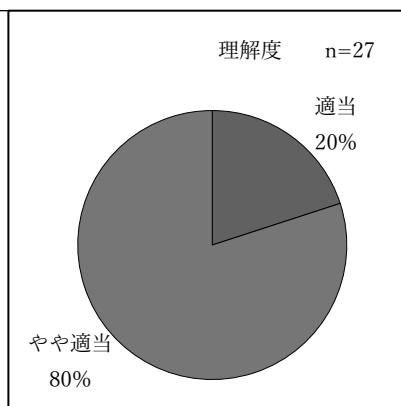


(3) 受講者アンケート結果

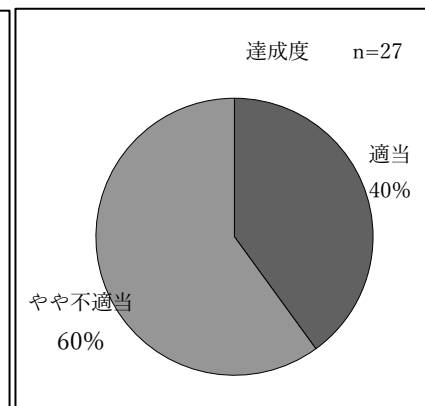
①受講動機



②理解度



③自己課題の達成度



④受講者の感想 ※一部抜粋

- ・自分で好きな時間にできて良かった。動画をいつでも見返すことができるので、便利だった。
- ・知識の確認ができた。また、働いた時のイメージができたのが良かった。

- ・学生の時に学べていなかった内容や、病院勤務で経験しなかった内容もあり、学ぶことが多かった。再就職を希望する方々に、ぜひ時間を作って見てほしいと思った。

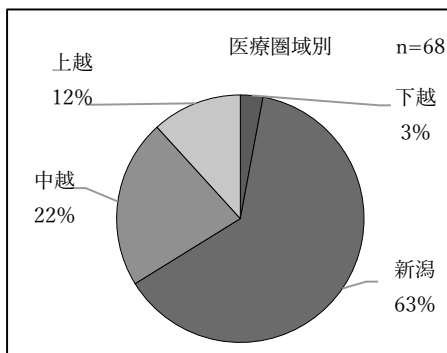
2) 基礎1日コース：基礎的な講義や看護技術演習と情報交換

(1) 受講者の状況

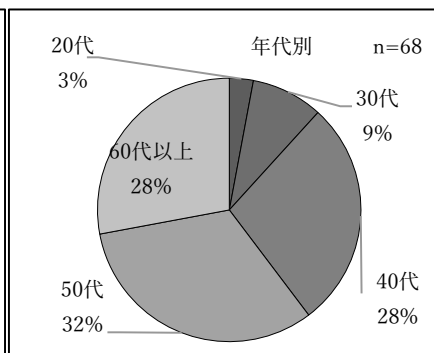
①実施内容及び受講者数と就職者数

開催日	会場	講習科目	受講者数	就職者数
7月16日	さいわいプラザ (長岡市)	求人情報・再就職支援について、ナースセンターの活用について、情報交換会	6	4
8月28日	新潟県看護研修センター (新潟市)	セカンドライフに備える生活設計、プラチナナースに期待されること～プラチナナースの働き方紹介～、情報交換会	19	9
9月4日	新潟県看護研修センター (新潟市)	看護の動向、感染管理について(標準予防策)、採血・点滴の基礎看護技術、情報交換会	16	6
10月2日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター (新潟市)	看護の動向、フィジカルアセスメント、急変時の対応、情報交換会	15	5
10月29日	さいわいプラザ (長岡市)	セカンドライフに備える生活設計、情報交換会	4	1
11月6日	上越市市民プラザ (上越市)	セカンドライフに備える生活設計、情報交換会	8	6
計			68	31

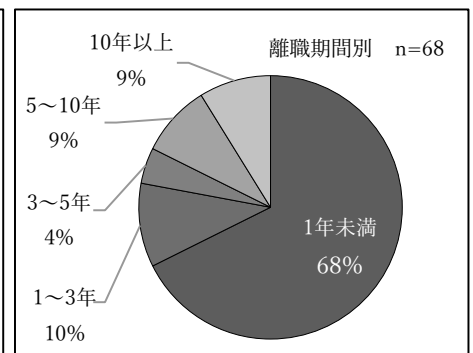
②医療圏域別



③年代別

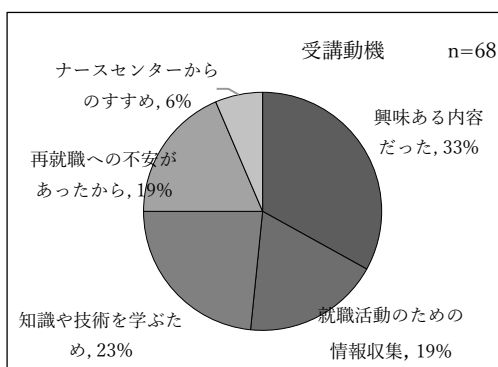


④離職期間

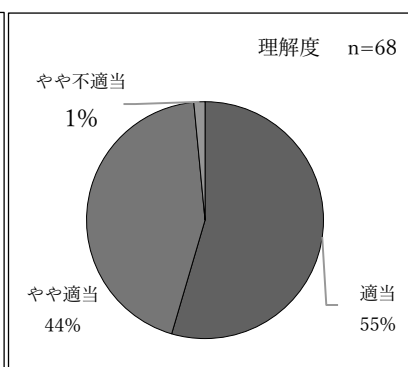


(2) 受講者アンケート結果

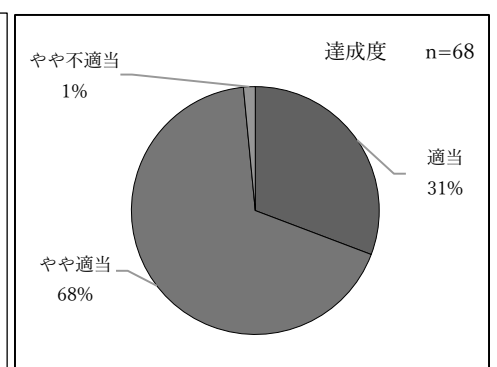
①受講動機



②理解度



③自己課題の達成度



④受講者の感想 ※一部抜粋

- ・ blank が長いですが、働きたいと思えた。安心かつ柔軟な働き方について理解できた。
- ・参加者のみなさん色々な悩みがあり、自分だけではないと心強く思えた。
- ・ナースセンターをもっと利用しようと思った。
- ・年金について、インターネットの情報はどこまで信用できるか不明であったが、セミナーを受けたことにより安心できた。今後どうしたら楽しく働き、生活できるのか、ヒントになった。
- ・知識や技術への不安が大きかったが、学び直しができ自信がついた。自分でも繰り返すことが必要だ。
- ・緊張していたが、参加者のみなさんと話ができたり、技術演習も経験できて、再就職に向けた不安が少し溶けただけでなく、就職に向けて前向きな気持ちになった。働きたいと思えた。
- ・技術演習はグループに分かれて手順を読み合いながら行ったので、落ち着いて実施することができた。

3) 定期採血技術演習コース：毎月1回・少人数制の採血技術演習

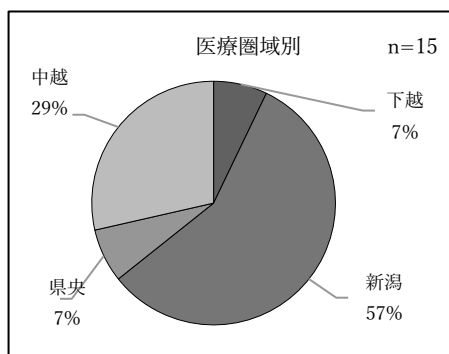
(1) 実施期間：令和7年5月1日～令和8年1月31日までの期間中、毎月第1木曜日

(2) 受講者の状況（定員・2名/回）

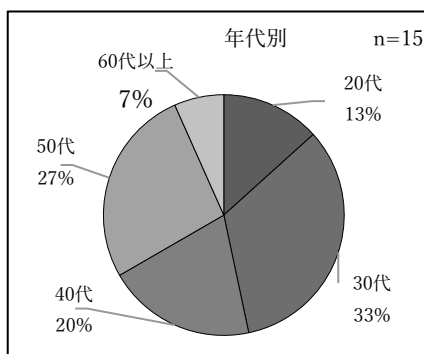
①受講者数と就職者数

受講者数	就職者数（就職率）
15	8（53.3%）

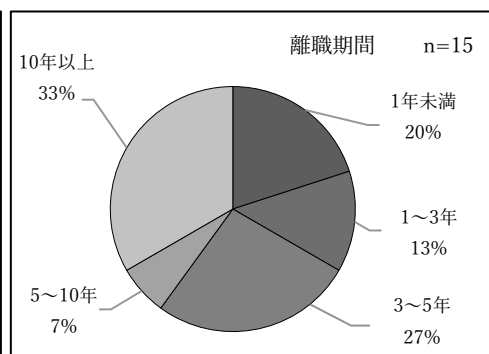
②医療圏域別



③年代別

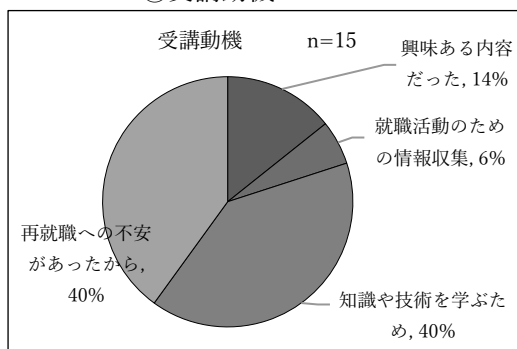


④離職期間

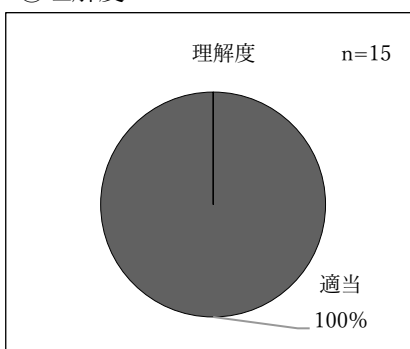


(3) 受講者アンケート結果

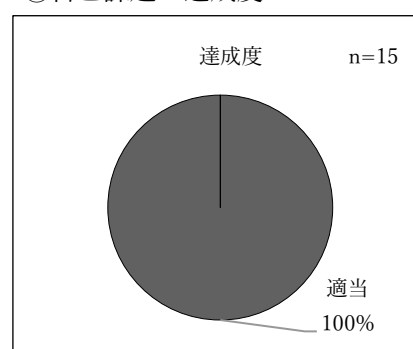
①受講動機



②理解度



③自己課題の達成度



④受講者の感想 ※一部抜粋

- ・忘れていた技術を、少しずつ思い出すことができた。就職に関する情報交換もできて良かった。
- ・再就職にあたって、採血に不安があった。セミナーを受けるうちに、記憶や感覚が戻ってきたようで、少し自信がついた。
- ・少人数制なので、自分のペースで進めたり質問したり、何回も練習できるので良かった。
- ・チェックリストがあり、わかりやすかった。雰囲気も和やかで、安心して参加できた。
- ・手順に沿って、改めて基本的な知識と技術を身に付けることができた。実践に活かしたい。

3) 復職体験コース：医療及び介護福祉施設等での実習体験

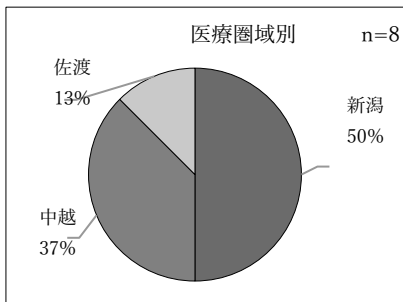
(1) 実施期間：令和7年5月1日～令和8年2月28日

(2) 受講者の状況

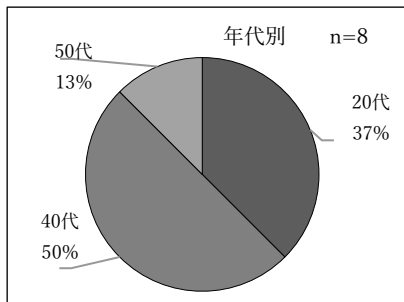
①受講者数と就職者数

開催日	医療圏域	体験施設	受講者数	就職者数
8月7日	長岡	特別養護老人ホームアカシアの丘黒条	1	1
8月8日	県央	三之町病院	1	1
8月18日	佐渡	佐渡総合病院	1	1
8月29日	新潟	白根大通病院	1	0
9月26日	新潟	東新潟訪問看護ステーション	1	1
11月21日	中越	長岡療育園	1	1
12月10日	新潟	あがの市民病院訪問看護ステーション	1	0
12月17日	新潟	下越訪問看護ステーション	1	0
計			8	5

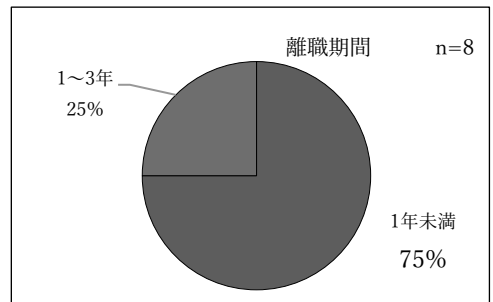
②医療圏域別



③年代別

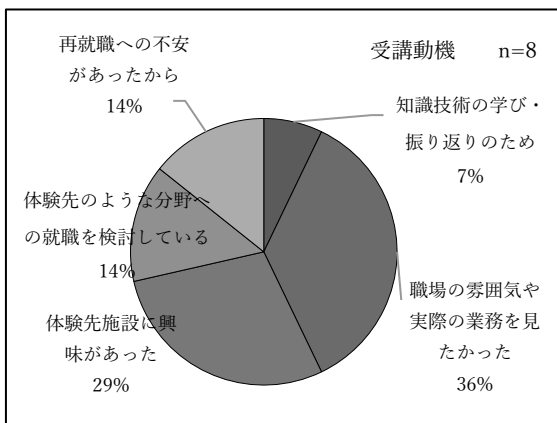


④離職期間

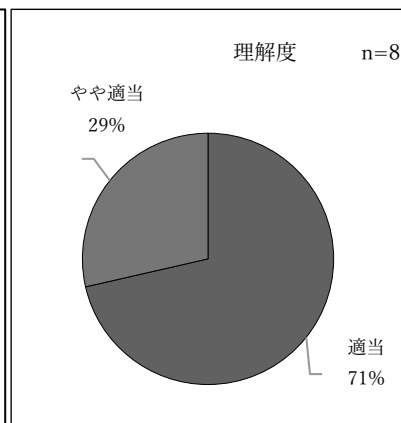


(3) 受講者アンケート結果

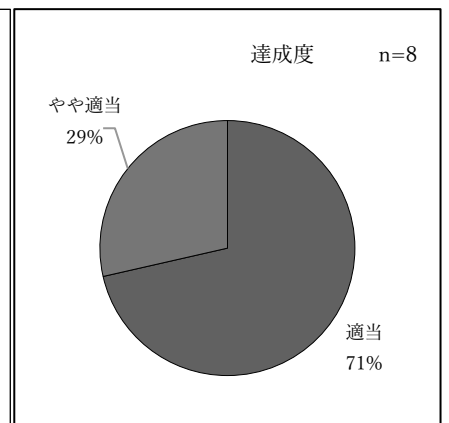
①受講動機



②理解度



③自己課題の達成度



④受講者の感想 ※一部抜粋

- ・実際に体験することで、良い部分だけではなく、大変なところや細かい仕事内容をたくさん知ることができ、訪問看護の漠然とした仕事内容と不安が無くなり、多くのことを得ることができた。スタッフの方々からも丁寧に対応してもらい、疑問点が解決でき、本当に参加して良かった。
- ・管理者の方からも、体験に来てくれる看護職と様々な会話ができることが嬉しく楽しみであるとのお話をいただき、楽しく体験ができた。訪問看護の仕事に興味を持ち、今後の選択肢となった。
- ・介護施設では、各職種の役割が分担されており、施設での看護職の役割を理解することができた。
- ・自身が病院で勤務していた頃より様々なことが新しくなっており、最初はとまどいもあったが、新しい知識が増えることが楽しく、もっと知りたいと思えた。新しいことにチャレンジする自信がついた。

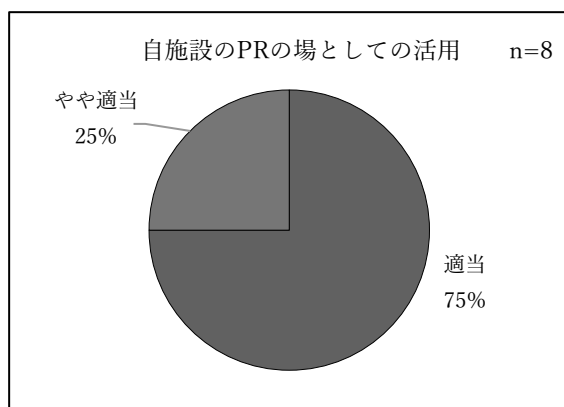
- ・病棟の雰囲気を感じながら現場のスタッフの方々の話を直接聞くことができ、良い経験になった。
- ・就職に不安がありその不安を軽減したいと思い参加した。体験することで、復職前にどんなことを学習すれば良いかが明確になった。

(4) 受入施設アンケート

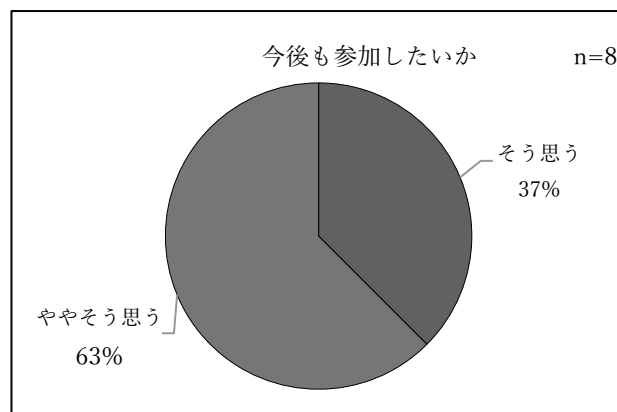
①受入協力の理由 ※一部抜粋

- ・訪問看護の魅力を知ってもらい、人材確保に繋がれば良いと思った。
- ・実習生に指導することで、ケア内容や指導方法を客観的に再認識でき、職員の刺激になるため。
- ・雰囲気や働き方を体験してもらい、職場の魅力を伝えたい。長期的な人材確保に繋がりたい。
- ・就職の際に、当院を選択肢として検討してもらえると良いと思った。

②自施設の PR の場として活用できたか



③今後も受入施設として参加したいか



④協力施設の感想 ※一部抜粋

- ・今回は、1日の看護業務の流れを体験したいということだったため、比較的準備もしやすかった。技術の体験もということになると、人員の調整等が難しくなる可能性があると思った。
- ・体験は、短時間ではなく1日を通しての実施をおすすめしたい。
- ・体験者の経歴に合わせて、プログラムを組んだ。準備するにあたり多少戸惑うこともあったが、今後も同様の企画があれば参加したいと思う。

4 成果

受講者アンケート結果より、理解度・自己課題の達成度について、基礎1日コースでは99%、eラーニング、定期採血演習コース、復職体験コースでは100%であった。

基礎コース受講者からは、元気や勇気がもらえた、今後の選択肢の幅が広がった等、再就職について具体的に検討する機会となった。また、情報交換会では、様々な立場の人と交流し話すことで、悩みを共有でき、不安が和らいでいるようであった。同じ悩みや気持ちを抱える人が集い話すことで、ピアサポートとしての役割も担っていたと考える。

看護技術演習や復職体験コース等の体験型研修では、前向きな感想や受講者からの質問も多く、興味を持って参加している様子が見え、満足度の高い研修となった。

5 課題

受講者の就職率が伸び悩み、就職へ結びついていない状況がある。受講者が研修後に就職につながるような関わりや動機づけが課題である。

II ナースセンター・ハローワーク連携事業

1 目的

医療スタッフの人材確保が喫緊の課題となっている中、ナースセンター、及び労働局・公共職業安定所との連携・協働することにより、看護職のマッチングの機能の強化を図り、職業相談、職業紹介などの就職支援をする。

2 事業内容

1) 看護職員再就職支援相談会

(1) 会場・開催時間

県内のハローワーク 13 ヶ所・13 時 30 分～15 時 30 分

※長岡：10 時～12 時、南魚沼：9 時～11 時

(2) 申込先 各ハローワーク窓口

(3) 方法

相談時間は 1 人 30 分の完全予約制で 1 回 4 人までとして実施した。

(4) 実施状況

	開催予定数 (回)	開催実数 (回)	相談者数 (人)	利用率 (%)
ハローワーク新潟	9	9	30	83.3
ハローワーク長岡	12	11	32	66.7
ハローワーク上越	4	4	12	75.0
ハローワーク三条	12	10	25	52.1
ハローワーク柏崎	2	1	2	25.0
ハローワーク新発田	12	12	22	45.8
ハローワーク新津	8	7	19	59.4
ハローワーク十日町	2	0	0	0.0
ハローワーク糸魚川	2	0	0	0.0
ハローワーク巻	6	5	10	41.7
ハローワーク南魚沼	2	2	2	25.0
ハローワーク佐渡	2	1	4	50.0
ハローワーク村上	4	3	4	25.0
合計	77	65	162	52.6

※相談者 162 人(実人数 155 人)のうち、110 人が e ナースセンターに登録し、102 人が届出制度に登録した。
また、3 月末までに 45 人が就職した。

(5) 相談者の内訳 (保有資格全部)

資格 年代	保健師	助産師	看護師	准看護師	無資格	合計
20 歳代	2	0	14	0	1	17
30 歳代	4	0	23	1	1	29
40 歳代	1	0	25	8	1	35
50 歳代	0	1	31	16	1	49
60 歳代	0	3	25	17	1	46
合計	7	4	118	42	5	176

(2) 看護の就職応援セミナー in 長岡

日 時：令和7年12月12日

内 容：子供と高齢者に携わる看護について

講 師：社会福祉法人 人と緑の大地 特別養護老人ホーム 古志乃里 看護師 押野見恵美子 氏
長岡市教育委員会子ども未来部 保育課 看護師 上村順子 氏

参加数：12人

6) ハローワーク連携施設訪問

(1) 実施状況

病院：6施設 ・黒埼病院
・新潟県立がんセンター新潟病院
・木戸病院
・新潟南病院
・竹山病院
・南浜病院

介護福祉施設：3施設 ・介護老人保健施設 マチュアハウス横越
・デイサービスセンター大山
・夢のみずうみ村新潟デイサービスセンター

「看護の心」普及事業

I 看護の日事業

「にいがた看護フェスタ」

看護の心（思いやり・支え合い・命の大切さ）をコンセプトにいつでも、どこでも、だれにでも「看護の心をみんなの心」を広く県民に普及すると共に、看護職の魅力をアピールし、新潟県看護協会を広く知っていただくことをねらいとする

- 1 日 時 令和7年5月17日（土） 10時30分～16時00分
- 2 会 場 CoCoLo 1階吹き抜け広場「ガタリウム」
- 3 実施主体 公益社団法人新潟県看護協会
- 4 共 催 新潟県
- 5 後 援 一般社団法人新潟県医師会、新潟市
- 6 内 容 参集開催
【ステージ】
「知ってほしい！災害支援ナースのおしごと」体験発表
「もしものとき私とあなたのできること」救急看護認定看護師によるミニレクチャー
「思いやりや支え合いの心を広げよう！」トークショー（ゲスト：伊勢 みずほ 氏）
【同時開催】
防災VR体験、骨密度測定・血管年齢測定、プチ看護師体験、健康相談、進路相談、災害支援ナースの持参物、災害時の備蓄品等、看護職の働く場の写真
- 7 参加人数 延べ341人
- 8 結 果 アンケート回収（n=164） 10代から70代までの幅広い年代が参加。「イベントに参加することにより〈思いやり・支え合い・命の大切さ〉について、考える機会となりましたか」という問いに、「なった」「まあまあなった」と93%が回答。
- 9 課 題 たまたま通りかかったという参加者が半数以上であったことから、オープンスペースでの開催は有効であった。事前の広報による集客は約3割に留まり、周知不足が課題に挙げられる。

II 看護の出前授業

- 1 日 時 令和7年5月14日（水）13時40分～14時30分
- 2 場 所 小千谷市立小千谷中学校
- 3 内 容 「がん教育」について
1) 病気の概要
2) 検診の重要性
3) がん患者との関わりから考える命の大切さ
- 4 講 師 長岡赤十字病院 看護師長・がん看護専門看護師 白井 直美 氏
- 5 参加者 小千谷市立小千谷中学校に在籍する中学2年生（125人）、教員（11人）
- 6 結 果 アンケート回収率96.8%（n=121：生徒のみ）
・「がんは身近な病気だ」について「そう思う」聴講前：43.0%→聴講後：89.3%
・「がんになっても早く見つければ多くの人が治る」について「そう思う」聴講前：41.3%→聴講後：76.0%
聴講前後では「がん」についての身近さや罹患後のイメージに変化がみられた。
また、授業を聞いた学生から、「生きてるってすごい」「（がんは）すごく身近なものだから、家族に今日のことを言ったり、生活習慣に気をつけたいと思いました」等の感想が聞かれた。1人1人が「がん」について、そして「生きること」について真剣に考える機会となった。
- 7 課 題 がんについて知ることで、命の大切さや生きることを考える機会となった。授業時間も適当であった。より多くの学校に参加してもらい、「命の大切さ」を伝える場としていきたい。

III 高校生一日看護師体験事業

- 1 目的：高校生が病院において、看護師の業務を体験することにより、看護に対する認識と理解を深めるとともに、進路の選択にあたり看護職を志す動機づけの一助とする。
- 2 対象者：県内の高等学校生で看護職を希望する者
- 3 実施期間：令和7年7月28日（月）～令和7年8月26日（火）
- 4 実施施設：県内99病院
（受入可能102病院中、希望者数0による実施無2病院、コロナによる中止1病院）
- 5 実施内容：車椅子移送・ストレッチャー体験、オペ室・CT室での模擬体験、バイタル測定、模擬腕による留置針の穿刺、医療機器に触れる、手術室体験、手指消毒の演習、外来・病棟・介護施設・訪問看護等の各部署見学、食事配膳、奨学金制度説明、先輩看護師との座談会、記念撮影、アンケート回答 等

6 参加人数 単位：人

申込人数	決定人数	参加人数	欠席人数
1,159	860	810（内男子 61）	50

7 3年生の進学先（令和6年度参加者） 単位：人

参加人数（3年生）	看護系大学 大学校・短大	看護専門学校	看護系以外の医療系 他、未進学含
527	269（51.0%）	187（35.5%）	71（13.5%）

8 結果

- ・新型コロナウイルスの影響により、中止した病院があった。
- ・参加生徒のアンケート回答方法をWEBと紙の併用としたが、WEB回答52.6%、紙回答41.9%、未回答5.6%であった。
- ・参加生徒のアンケートでは、95.4%（730人）が「とても満足」4.6%（35人）が「まあまあ満足」としたと回答し、入院中の患者さまが過ごしやすいうちという思いやりに溢れた仕事内容であり、素敵な仕事であることを改めて実感した。命を扱う重大さも踏まえた上で、素敵な職業だと思った。等の感想がよせられた。
- ・受入病院のアンケートでは、「体験者が職業選択をするための一助となる様な内容を実施できたか」という設問に対し57%が「実施できた」42.1%が「まあまあ実施できた」と回答があった。
看護師体験経験者の意見を取り入れたプログラムの実施や、看護師の業務を具体的にイメージできるよう参加者とのコミュニケーションを密にし、体験を多く取り入れた、などの回答があった。
- ・事前準備や関係部署との調整を、限られた時間と人員で行うことは大変である、などさまざまな課題もみられた。しかし、真剣に体験に参加する生徒の姿に触れ、初心にかえる思いがしたとの声もあり、未来の看護師育成への期待を込めて、各受入病院においてご尽力いただき実施された。

9 課題

- ・例年課題として挙げられる事務負担については、「参加証への氏名印字」など負担減の工夫を行ったものの、さらなる改善策の検討が必要である。
- ・病院側からは決定通知の早期化を求める声があるため、マッチング作業の効率化について検討が必要である。

日本看護協会委託事業

I 地域の実情に応じた看護職確保推進事業

1 目的

地域の実情や病院等のニーズに応じた看護職・看護補助者の確保

2 事業実績

1) 介護・福祉施設を知るためのセミナー開催

実施日：令和7年7月17日（木）

内 容：介護・福祉の現場で働くために必要な知識と心構え

講 師：社会福祉法人 長岡三老人福祉会 介護老人保健施設 てらどまり

総括主任看護職員 木村勝一 氏

社会福祉法人 長岡三老人福祉会 特別養護老人ホーム 桐原の郷

副主任看護職員 石川典子 氏

受講者数：13人

2) 医療機関、介護・福祉施設等への施設訪問

実施状況：病院6件 介護施設3件 訪問看護ステーション1件

3) 看護補助者の確保・定着に向けた取り組み

(1) 看護補助者周知ポスターの作成

サイズ：B2 部数：40部 掲示先：説明会開催地周辺の駅10カ所

(2) 看護補助者無料職業紹介案内リーフレットの作成

サイズ：A4二つ折り 部数：6,000部 周知先：ハローワーク、病院、関係団体等 計213施設



ポスター 研修

しごと説明会

無料職業紹介（表面）

無料職業紹介（中面）

4) 看護学生・潜在看護職を対象としたNuPsの周知

- ・看護師等学校養成所へ周知媒体（日本看護協会作成の瞳孔スケール等）の発送：22校
- ・看護師等学校養成所へ訪問周知：10校
- ・eナースセンター登録者へメール周知：4,041名

3 成果・課題

昨年度のナースセンター実績と比較し、介護・福祉施設への就職者数は増加した。

今後も様々な求人施設の看護職確保のニーズに応えられるよう、事業を検討・実施し、マッチング率の向上につなげる。

訪問看護推進事業報告

訪問看護推進課

訪問看護総合支援センター

令和7年度訪問看護推進事業実績

事業名	事業	事業目的	事業内容	令和7年度事業目標
訪問看護推進（支援）事業	訪問看護実態調査	訪問看護の普及状況、対象者のニーズ、具体的な看護内容、事業実施上の問題点等に関する実態調査を行い、訪問看護推進（支援）事業を実施する上での基礎資料を作成する	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護実態調査の実施 ・訪問看護実態調査報告書の作成 ・訪問看護実態調査報告会の開催 ・調査結果からみえる課題に対する方策の実施 	調査内容のスリム化により回答率の向上を図り、より正確な実態把握となる
	訪問看護相談事業	在宅療養者やその家族等および訪問看護サービスを提供する訪問看護事業者に対して、訪問看護に対する情報提供や相談を行うことで、訪問看護事業に対する理解を深め、活用を促す	<p>相談対応 対象：在宅療養者、家族、関係機関、訪問看護ST職員 等 方法：メール、電話</p>	介護支援専門員、病院相談員等に相談先を周知することにより、訪問看護の活用につながる
	訪問看護推進協議会	訪問看護に関する実態調査および各年度における訪問看護推進事業の企画・調整等を行い、訪問看護の推進に寄与する	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護推進協議会の開催 ・協議会において、訪問看護推進上の課題について協議 	・資料提示の工夫等により、具体的な協議結果が得られる
	訪問看護従事者研修会	訪問看護に携わる看護職員に対して、最新の知識と医療技術を提供し、質の高い訪問看護サービスの提供に資する	訪問看護従事者研修会（新任者編）の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模施設、新規開設施設等が受講しやすい体制の工夫および全訪問看護STに対する案内により、受講機会を増加させる ・講師との綿密な打ち合わせにより、満足度を高める
	訪問看護従事者研修会		訪問看護従事者研修会（管理編）の開催	
訪問看護従事者研修会	訪問看護従事者研修会（スキルアップ編）の開催			
在宅看護研修会	医療機関等に勤務する看護職員に対して、在宅医療に関する知識の習得機会を提供し、入院患者に適正に在宅医療に移行するための入退院支援を行うことにより、訪問看護の推進に資する	在宅看護（入退院支援）研修会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模施設、新規開設施設等が受講しやすい体制の工夫および全訪問看護STに対する案内により、受講機会の増加を図る ・講師との綿密な打ち合わせにより、満足度を高める 	

および令和8年度取り組み目標

訪問看護ステーション→訪問看護ST 看護小規模多機能型居宅介護→看多機

令和5・6・7年度実績					令和8年度計画	
項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	前年増減	指標	取り組み目標
調査対象施設数	訪問看護ST188施設	訪問看護ST204施設	訪問看護ST213施設	—	—	・調査項目の検討および他の調査結果の活用等により、より実態に基づいた情報を収集できる。
回収施設数	訪問看護ST146施設	訪問看護ST150施設	訪問看護ST152施設	—	—	
回収率	77.7%	73.5%	71.4%	2%減	70%以上	
訪問看護実態調査報告会出席数	訪問看護ST38回線	訪問看護ST55回線	訪問看護ST52回線	3回線減	受講数の増加	・訪問看護ST、関係機関等が、事業運営に活用できるよう調査結果を提供できる。
課題に対する方策の実施	実施	実施	実施	—	実施	
相談合計件数(件)	372	561	484	77減	1年以内に開設した訪問看護STから、1回以上の相談がある	・地域住民、療養者や家族、関係機関が訪問看護への理解が深まる相談対応ができる。 ・訪問看護STが法令に基づき安定した運営ができるための相談対応ができる。
相談者区分件数(件)	療養者3 家族2 訪問看護ST328 関係機関27 その他12	療養者7 家族5 訪問看護ST515 関係機関29 その他5	療養者2 家族9 訪問看護ST417 関係機関45 その他11	—	—	
開催回数および開催日	2回 令和5年8月16日 令和6年3月28日	2回 令和6年9月5日 令和7年1月24日	1回 令和7年8月18日	—	開催回数1回 R8年8月	・実効性のある協議結果が得られるための協議会運営ができる。
全日程 ・講義(年度により異なる) ・eラーニング約35時間 ・施設実習2日	講義:8日 募集30 受講41 修了37 受講割合136.7% 満足度100% 目標達成度100%	講義:8日 募集30 受講34 修了34 受講割合113.3% 満足度65.2% 目標達成度63%	講義:7日 募集30 受講24 修了23 受講割合80.0% 満足度99.2% 目標達成度99.2%	受講割合33.3%減 満足度34.0%増 目標達成度36.2%増	・受講割合70%以上 ・満足度80%以上 ・目標達成度80%以上	・小規模施設、新規開設施設等も受講しやすい研修体制の工夫ができる。 ・研修の満足度、理解度、目標達成度を維持できるよう、講師との綿密な打合せ等の取り組みができる。
公開講座 ・講義(年度により異なる)	講義3回 募集計120 受講延35 受講割合43.8% 満足度98.7% 目標達成度97.5%	講義3日 募集計90 受講延55 受講割合61.1% 満足度100% 目標達成度100%	講義4日 募集計80 受講延51 受講割合63.8% 満足度100% 目標達成度100%	受講割合2.7%増 満足度 維持 目標達成度 維持		
全日程 ・講義(年度により異なる) ・施設実習2日	講義5日 募集20 受講20 修了18 受講割合100% 満足度100% 目標達成度90.0%	講義5日 募集20 受講14 修了12 受講割合70.0% 満足度93.7% 目標達成度72.7%	講義4日 募集20 受講11 修了10 受講割合55.0% 満足度95.5% 目標達成度93.8%	受講割合15.0%減 満足度1.8%増 目標達成度21.1%増		
公開講座 ・講義(年度により異なる)	講義5日 募集計140 受講延べ57 受講割合40.7% 満足度95.0% 目標達成度94.2%	講義5日 募集計140 受講延べ47 受講割合33.6% 満足度100% 目標達成度100%	講義3日 募集計80 受講延べ39 受講割合48.8% 満足度99.9% 目標達成度100%	受講割合15.2%増 満足度0.1%減 目標達成度 維持		
講義 1回単位(年度に異なる)	講義4回 募集計160 受講延べ173 受講割合108.1% 満足度96.7% 目標達成度98.3%	講義4回 集計220 受講延べ202 受講割合91.8% 満足度82.0% 目標達成度85.0%	講義7回 募集計420 受講延べ203 受講割合48.3% 満足度98.4% 目標達成度97.1%	受講割合43.5%減 満足度16.4%増 目標達成度12.1%増		
全日程 ・講義(年度により異なる) ・施設実習2日	講義3日 募集20 受講17 修了16 受講割合85.0% 満足度99.4% 目標達成度100%	募集20 受講12 修了12 受講割合60.0% 満足度99.0% 目標達成度99.0%	募集20 受講10 修了10 受講割合50.0% 満足度100% 目標達成度100%	受講割合10.0%減 満足度1.0%増 目標達成度1.0%増		
公開講座 ・講義(年度により異なる)	講義3回 募集計30 受講27 受講割合90.0% 満足度100% 目標達成度100%	講義4日 募集計120 受講延84 受講割合70.0% 満足度98.0% 目標達成度96.4%	講義4日 募集計120 受講延66 受講割合55.0% 満足度100% 目標達成度100%	受講割合15.0%減 満足度2.0%増 目標達成度3.6%増		

令和7年度訪問看護推進事業実績

事業名	事業	事業目的	事業内容	令和7年度事業目標
訪問看護推進（支援）事業	訪問看護師育成サポート研修	訪問看護従事者・看護管理者・指導者に対しての育成支援等を行うことにより、訪問看護従事者の確保定着を促進する	個別研修 全体研修① 訪問看護制度等に関する研修 全体研修② 教育機関と連携した研修	・小規模施設、新規開設施設等が受講しやすい体制の工夫および全訪問看護STに対する案内により、受講機会の増加を図る
	訪問看護就業支援プログラム	看護職員および看護学生に対して、訪問看護ST就業体験の機会を提供し、就業意欲を高めることにより訪問看護師の確保につなげる	訪問看護STにおける職場体験	NC、看護師等養成校との協働により、訪問看護への関心を高める
訪問看護総合支援センター事業	訪問看護ステーション運営アドバイザー事業	訪問看護STの運営や経営管理、人材育成等の相談に対応し、必要な知識や情報等の提供や支援を行い、安定した事業運営につなげる	訪問看護ST運営に関する助言	・新規開設施設への個別周知により、活用機会を確保する
	訪問看護に関する啓発事業	住民や看護職員等に対し、訪問看護に関する情報提供等啓発を行い訪問看護に関する理解を深め、訪問看護の活用を促進する	・リーフレットの活用 ・看護師等学校養成所訪問 ・新潟市事業への協力 等	・住民対象リーフレットの活用が促進される
	看護小規模多機能型居宅介護事業所への支援	看護小規模多機能型居宅介護事業所が安定した運営のもと、利用者に質の高いサービスを提供できる体制整備への取り組みを促進する	実態把握の実施	看護小規模多機能型居宅介護事業所の実態を把握し、課題と方策を明確にする
			研修会・情報交換会の開催	研修や情報収集の機会を提供し、質が高く安定した事業運営を支援する
関係機関との連携	関係機関と訪問看護に係る課題や方策等について情報交換および意見交換・協議を行い、訪問看護の推進に寄与する	関係機関との連携	訪問看護に係る課題を共有し、課題解決に向けた取り組みを実施する	
日本看護協会委託事業	地域の実情に応じた看護職確保推進事業	地域の実情に応じた看護職・看護補助者の確保	新卒訪問看護師育成体制整備の支援	新卒訪問看護師を採用した訪問看護STの育成体制整備を支援するとともに、県内訪問看護STおよび関係機関と情報共有することにより、訪問看護師の確保と定着を図る
			訪問看護の魅力発信in看護師等学校養成所	看護師等学校養成所の学生に対し、訪問看護師から想いを伝え、意見交換することで、職業としての訪問看護への理解と関心を高め、訪問看護師の確保につなげる

および令和8年度取り組み目標

訪問看護ステーション→訪問看護ST 看護小規模多機能型居宅介護→看多機

項目	令和5・6・7年度実績			前年増減	令和8年度計画	
	令和5年度	令和6年度	令和7年度		指標	取り組み目標
①受講訪問看護ST数 (施設) ②受講者数(名)	①0 ②0	①1 ②1	①2 ②4	①1 増 ②3 増	受講数の増加	・訪問看護ST従事者が大幅な報酬改定を理解し、適切で安定的な事業運営ができるための支援ができる。 ・各訪問看護ステーションにおける育成体制がより充実するための支援ができる。
①実施回数 ②受講者(回線数)	①2回(同内容) ②延103回線	①2回(同内容) ②延50回線	①3回 ②延102回線	平均25→34回線 52回線増		
①実施回数(シリーズで受講) ②受講者(施設) ※R6年度以降は他の事業に含めて実施	①講義・グループワーク計6回 ②58施設+個人1	-	-	-	-	-
①実施回数 ②募集 ③受講者	①1回 ②10 ③10 受講割合100% 満足度100% 目標達成度100%	①3回 ②計30 ③延20 受講割合66.7% 満足度100% 目標達成度100%	①4回 ②計48 ③延25 受講割合52.1% 満足度97.8% 目標達成度93.2%	受講割合14.6%減 満足度 維持 目標達成度 維持	・受講割合70%以上 ・満足度80%以上 ・目標達成度80%以上	
①協力訪問看護ST数 ②体験者数 ③体験後の訪問看護ST就労者数	①22施設 ②7 ③就労0	①36施設 ②11 ③就労5・開設1	①27施設 ②19(うち学生14) 延べ26日	体験者8 増	体験者数の増加	・体験者が訪問看護への関心を高められるよう、受入訪問看護STと連携を図ることができる。
①受講訪問看護ST数 ②実施延回数	①0 ②0	①4施設 ②延べ9回	①2施設 ②延べ3回	施設数 4→2 減	-	担当課職員体制により休止。
リーフレット活用(部) ①住民向け ②看護職員向け	①2,230 ②450 計2,680	①1,572 ②539 計2,111	①1,012 ②353 計1,365	①560 減 ②186 増 計746 減	-	・訪問看護ST、他機関と連携し、住民に対する啓発ができる。 ・看護学生、潜在看護師等に対する啓発を継続できる。
方法 対象施設数	名簿作成 ヒアリング22施設	名簿作成 視察 2施設	名簿作成 視察 1施設 ヒアリング24施設	-	-	-
実施日 受講施設数 受講割合	令和6年3月2日 8施設 受講割合38.1% 満足度100% 目標達成度100%	令和7年3月13日 13施設+関係機関4 受講割合59.1% 満足度100% 目標達成度92.9%	令和8年2月19日 10施設+関係機関1 受講割合41.7% 満足度100% 目標達成度100%	受講/全事業所割合 59.1→41.7% 17.4%減	受講割合の増加	・看多機事業所のニーズに基づいた情報提供や研修企画ができる。 ・住民や関係機関への啓発に向けた取り組みができる。
情報提供の実施	実施	実施	実施	-	-	-
対象：県訪問看護ST協議会・県および郡市医師会在宅医療推進センター・各職能団体等	実施	実施	実施	-	-	・目的を明確にした関係機関との連携が継続できる。
①新卒訪問看護師を採用した訪問看護STにおける関係者との意見交換 ②新卒訪問看護師の情報交換会開催 ③新卒訪問看護師育成報告会開催	-	-	①計7回 ②令和8年1月29日 訪問看護師4名 他 ③令和8年2月18日 訪問看護ST等 計45施設	-	報告会の出席者の増加	・新卒訪問看護師が、意欲的に就業継続できるよう支援できる。 ・新卒看護師採用に対する関心を高められる取り組みができる。
①看護師等学校養成所訪問等による情報提供および意見交換 ②看護師等学校養成所において訪問看護師による講話、学生との意見交換	-	-	①計8校 ②計4校 対象者1~3年生 計144名	-	受講前後アンケートにおける訪問看護STへの就職を考える回答数の増加	・訪問看護STと連携し、看護学生の訪問看護に対する関心を高められる取り組みが継続できる。

訪問看護推進事業

I 訪問看護実態調査

1 目的 訪問看護の普及状況、対象者のニーズ、具体的看護内容、事業実施上の問題点等に関する調査を行い訪問看護推進事業を実施する上での基礎資料を作成する。

2 概要

1) 調査対象：令和7年8月1日現在新潟県に現存する訪問看護ステーション213施設

2) 回収件数：152施設（回答率71.4%）

3) 調査内容：①訪問看護ステーションの概要
②サービス提供の実績について
③事業所の運営について
④職員について
⑤新卒看護職員採用について
⑥携帯電話当番について
⑦訪問看護を行う上で問題として感じていることについて
⑧看護職員のカスタマーハラスメント被害について
⑨看護学生実習の受け入れについて

4) 調査方法：調査内容（Excelデータ）をメールにより送付および回答

5) 調査回答期間：令和7年10月1日～10月20日

6) 調査結果：「2025年度訪問看護実態調査報告書」としてまとめた。
報告書および概要版は、看護協会ホームページに掲載。

7) 活 用：

①訪問看護推進のための基礎資料；調査に協力を得た訪問看護ステーション、訪問看護推進協議会委員、関係団体等に配布し、訪問看護推進のための基礎資料として頂く。

②研修への活用；訪問看護関連研修会の講師に配布し、講義の参考資料として頂く。

③訪問看護ステーションに対する報告；県内全訪問看護ステーションを対象に、報告書の内容に関する説明および意見交換会を開催した。

開催日：令和8年3月11日（水）

出席数：52回線

意見交換テーマ：訪問看護ステーションにおけるカスタマーハラスメント対策について

「カスハラからスタッフと事業所を守る！」

II 訪問看護相談事業

1 目的 在宅療養者やその家族等および訪問看護サービスを提供する訪問看護従事者に対して、訪問看護に対する情報提供や相談を行うことで、訪問看護事業に対する理解を深め、活用を促す。

2 訪問看護相談

1) 合計 484件

2) 相談区分

相談者	療養者	家族	訪問看護ステーション	関係機関	その他
相談件数	2	9	417	45	11

3) 相談内容

相談内容	報酬	運営	災害	在宅療養	治療	看多機*	その他
相談研修	178	261	4	11	0	8	22

※看護小規模多機能型居宅介護事業所を看多機と記載する

III 訪問看護推進協議会

1 目的 訪問看護に関する実態調査および各年度における訪問看護推進事業の企画・調査等を行い、訪問看護の推進に寄与する。

2 委員 12名

	氏名	所属機関・勤務先	役職
会長	永井 博子	新潟県医師会・押木内科神経内科医院	副院長
副会長	坪川トモ子	新潟青陵大学看護学部看護学科	学部長・教授
委員	服部 美加	一般社団法人新潟県医師会在宅医療推進センター	コーディネーター
委員	高橋 直美	新潟県訪問看護ステーション協議会 (訪問看護ステーションゆうばえ)	常任理事
委員	大戸奈穂子	新潟県福祉保健部 医師・看護職員確保対策課 看護職員確保・育成係	副参事
委員	樋口 貴大	新潟県福祉保健部 地域医療政策課 医療企画班	主事
委員	渡邊 文恵	新潟県福祉保健部 高齢福祉保健課 介護サービス係	係長
委員	志賀久美子	新潟市保健衛生部 地域医療推進課	主査
委員	金子 歩	公益社団法人新潟県看護協会 訪問看護推進委員会 (訪問看護ステーションココロ上越高田駅前)	副委員長
委員	長濱 友子	公益社団法人新潟県看護協会 訪問看護推進委員会 (とよら訪問看護ステーション)	委員
委員	池田 良美	公益社団法人新潟県看護協会	会長
委員	山田 秀子	公益社団法人新潟県看護協会	常務理事

3 開催回数・会場・内容

開催日	会場	主な協議内容
令和7年 8月18日	新潟県 看護研修センター	1.訪問看護推進事業の評価と実績 2.訪問看護ステーションにおけるカスタマーハラスメント

IV 訪問看護従事者研修会（新任者編）（管理編）（スキルアップ編）

- 1 目的 訪問看護に携わる看護職員に対して、最新の知識と医療技術を提供し、質の高い訪問看護サービスの提供に資する。
- 2 内容と受講者数、評価

※研修会プログラム別途掲載

研修会区分		開催時期 (令和7年)	内容	募集	受講数 修了数 受講割合	満足度 目標達成度
訪問看護 従事者研修会 (新任者編)	全日程	5月31日(土) ~11月8日(土)	講義7日 eラーニング 約35時間 実習2日	30	受講24 修了23 受講割合80.0%	満足度99.2% 目標達成度99.2%
	公開講座	5月31日(土) 6月28日(土) 7月12日(土) 9月6日(土)	講義4回	計80	受講延べ51 受講割合63.8%	満足度100% 目標達成度100%
訪問看護 従事者研修会 (管理編)	全日程	5月10日(土) ~10月4日(土)	講義4日 実習2日	20	受講11 修了10 受講割合55.0%	満足度95.5% 目標達成度93.8%
	公開講座	6月14日(土) 7月19日(土) 10月4日(土)	講義3回	計80	受講延べ39 受講割合48.8%	満足度99.9% 目標達成度100%
訪問看護従事 者研修会 (スキルアップ編)	一回単位	8月23日(土) 9月2日(火) 9月17日(水) 10月1日(水) 10月16日(木) 11月20日(木) 12月6日(土)	講義7回	計420	受講延べ203 受講割合48.3%	満足度98.4% 目標達成度97.1%

V 在宅看護（入退院支援）研修会

- 1 目的 医療機関に勤務する看護職員に対して、在宅医療に関する知識を提供し、入院患者が適正に在宅医療に移るための入退院支援を行うことにより、訪問看護の推進につなげる。
- 2 内容と受講者数、評価

※研修会プログラム別途掲載

研修会区分		開催時期 (令和7年)	内容	募集	受講数 修了数 受講割合	満足度 目標達成度
在宅看護 (入退院支援) 研修会	全日程	6月12日(木) ~11月15日(土)	講義4日 実習2日	20	受講10 修了9 受講割合50.0%	満足度100% 目標達成度100%
	公開講座	6月12日(木) 7月24日(木) 10月18日(土) 11月15日(土)	講義4回	計120	受講延べ66 受講割合55.0%	満足度100% 目標達成度100%

VI 訪問看護師育成サポート研修

1 目的 訪問看護従事者に対して現地での現地指導等を行うことにより、教育体制の充実と訪問看護従事者の確保・定着を促進する。

2 個別研修

1) 目的：個別支援を実施することで、新潟県内の訪問看護ステーションが訪問看護の質向上と人材の確保・育成を目指し、訪問看護師の育成体制を整備することができる。

2) 実施内容：現地での育成支援

実施日	令和7年7月11日(金)	令和8年3月18日(水)
対象職員数	管理者1名	管理者1名 従事者2名
支援内容	訪問看護の質評価に関すること	訪問看護師の育成に関すること 訪問看護報酬に関する基礎知識に関する こと

3 全体研修①

1) 目的：訪問看護に関する基礎的な知識への理解を深めることにより、法令に基づき安定した事業運営ができる。

2) 内容・受講数・評価

開催時期 (令和7年)	内容	受講数	満足度 目標達成度
4月24日(木)	訪問看護の基礎知識 訪問看護制度の基本	27回線	満足度 95.5% 目標達成度 86.4%
5月15日(木)	訪問看護の基礎知識 訪問看護報酬の基本	37回線	満足度 83.5% 目標達成度 77.8%
5月29日(木)	訪問看護の基礎知識 訪問看護に関連する公費制度	38回線	満足度 100% 目標達成度 91.7%

4 全体研修② 教育機関と協働する研修

1) 目的：訪問看護師の質向上を目指し、新潟県内の訪問看護ステーションが訪問看護師の育成体制を整備し、人材の確保と育成を図る

2) 研修目標：アセスメントに基づき、適切な情報共有のための言語化ができる

- ・フィジカルアセスメントの基本を理解できる
- ・状態変化時の優先順位に基づいたアセスメントができる
- ・状態変化時の適切な対応を考えることができる
- ・対象者の状態について考えたことを言語化できる

3) 講師：新潟青陵大学看護学部看護学科 学部長・教授 坪川トモ子氏
准教授 清水 理恵氏
助教 浅野 仁美氏

4) 内容・受講数・評価

開催時期 (令和8年)	対象	募集	受講数 受講割合	満足度 目標達成度
2月9日(月)	訪問看護経験の短い 訪問看護師	12	6名 受講割合 50.0%	満足度 95.5% 目標達成度 86.4%
3月3日(火)		12	6名 受講割合 50.0%	
2月12日(木)	訪問看護経験の長い 又は指導的立場にある 訪問看護師	12	8名 受講割合 66.7%	満足度 100% 目標達成度 100%
3月4日(水)		12	5名 受講割合 41.7%	

VII 訪問看護就業支援プログラム

- 1 目的：看護職員および看護学生に対して、訪問看護ステーション職場体験の機会を提供し、訪問看護への理解を深めるとともに就業意欲を高めることにより訪問看護師の確保および定着につなげる。
- 2 対象者：訪問看護に興味のある看護職員・訪問看護に興味のある看護学生
- 3 実績
 - 1) 協力訪問看護ステーション 27 施設
体験依頼した訪問看護ステーション 14 施設（体験者の居住地等の理由による）
 - 2) 体験者人数・体験日数・体験後の就業の状況

※訪問看護ステーション就業：令和8年3月1日現在の状況

申込		実績		体験後の動向
看護学生	15名	14名	延べ18日	
就業看護師	3名	3名	延べ5日	
未就業看護師	2名	2名	延べ3日	
合計	20名	19名	延べ26日	

訪問看護総合支援センター事業

1 訪問看護ステーション運営アドバイザー事業

- 1) 目的：新潟県内の新規開設訪問看護ステーション及び事業所運営等のアドバイスを希望する訪問看護ステーションに運営アドバイザー等を派遣し、訪問看護ステーションの運営に関する支援を行うことで、安定した事業運営につなげる。
- 2) 対象者：新潟県内において新規開設準備又は新規開設した訪問看護ステーション
新潟県内で開設している訪問看護ステーションで事業運営等のアドバイスを希望する訪問看護ステーション
- 3) 実績：訪問看護ステーション2施設 延べ3日

実施日 (令和7年)	対象職員	実施場所	支援内容
4月23日(水)	事業者代表 1名 管理者 1名 従事者 1名	現地	・新規開設に向けた体制整備に関すること ・訪問看護制度および報酬に関する基礎知識に関すること
4月25日(金)	事業者代表 1名 管理者 1名		
10月11日(土)	管理者 1名	新潟県看護 研修センター	・訪問看護師の育成に関すること ・訪問看護制度および報酬に関する基礎知識に関すること

2 訪問看護の周知

1) リーフレットの活用

題名	内容	配布先	部数
訪問看護ステーション ～“家で暮らしたい”を 支えます～	訪問看護サービスの内容や 利用方法等の説明	・要望のあった病院 ・要望のあった 訪問看護ステーション ・看護師等学校養成所 等	1,012部
訪問看護で生き生き働く!!	訪問看護に従事する職員を 増やすための働きかけ	・ナースセンター ・ハローワーク ・研修会会場 ・看護師等学校養成所 等	353部

2) 看護師等学校養成所への訪問、求職中看護職への周知（ナースセンター・ハローワークと連携）

3) 看護師等学校養成所訪問

- (1) 実施日：4月23日(水) 5月9日(金) 6月3日(火) 7月2日(水) 7月4日(金)
- (2) 対象：計8校 ※13校には資料送付
- (3) 内容：・情報提供 新潟県内の訪問看護の状況 訪問看護の魅力発信事業 等
・意見交換

4) 新潟市事業「地域医療を支える看護人材確保事業」への協力

- (1) 訪問看護の魅力発信 in 新潟大学
 - ①実施日：令和7年8月6日(水)
 - ②対象：新潟大学保健学科看護学部3年生 80名

- ③内 容：新潟市内訪問看護ステーション訪問看護師3名による訪問看護に関する講話
学生と訪問看護師の意見交換
新潟市より事業の紹介
本課より情報提供：新潟県内の訪問看護について、訪問看護師の育成体制について 等

(2) 訪問看護魅力発信オンラインイベント

「その人らしい暮らしを支える看護～現場から伝える看護の魅力～」

①実施日：令和8年2月28日（土）

②参加者：28名

③内 容：新潟市内訪問看護ステーション管理者2名による訪問看護に関する講話

参加者と管理者の意見交換

新潟市より事業の紹介

本課より情報提供：新潟県内の訪問看護について、訪問看護師の育成体制について 等

3 看護小規模多機能型居宅介護事業所への支援

1) 情報収集

(1) 目 的 県内看護小規模多機能型居宅介護事業所の現地視察やヒアリングにより、運営状況を把握し、質の向上および経営・運営の安定化、ネットワーク構築に向けた支援の方策に関する具体的な検討のための資料とする

(2) 内 容

①視察 対 象：1施設（新潟圏域）

実 施 日：令和7年5月28日（水）

②ヒアリング 対 象：県内全事業所 24施設

実施期間：令和8年1月

活 用：県内全事業所および県内全市町村に配布、事業運営の資料、講義に活用等

2) 研修会

(1) 目 的 看護小規模多機能型居宅介護事業所の効果的な運営方法を学び、自施設における取り組みを考えることができる

県内の看護小規模多機能型居宅介護事業所間の連携を図ることができる

(2) 実施日 令和8年2月19日（木）

(3) 内 容 講義「看護小規模多機能型居宅介護事業所の経営戦略」

講師：株式会社渡邊経営/渡邊会計事務所 代表

看護師・公認会計士・税理士 渡邊 尚之 氏

(4) 受講者 看護小規模多機能型居宅介護事業所 10施設

(5) 評 価 受講割合 41.7% 満足度 100% 目標達成度 100%

4 関係機関との連携

1) 機関：行政 新潟県訪問看護ステーション協議会 在宅医療推進センター 教育機関 医療機関
新潟県介護支援専門員協会 新潟県薬剤師会 新潟県医療的ケア児支援センター 等

2) 内容：訪問看護推進における課題と方策の共有・検討、訪問看護に関連する事業 等

5 専門性の高い訪問看護師の活躍の場拡大に向けた取り組み

1) 名簿作成と周知

2) 新潟県看護協会看護学会における訪問看護セッションの企画運営への支援

「訪問看護ステーションにおける特定行為研修修了者の挑戦」

日本看護協会委託事業

I 地域の実情に応じた看護職確保推進事業

1 新卒訪問看護師の育成整備支援事業

1) 目的 新卒訪問看護師を採用した訪問看護ステーションの育成体制整備を支援するとともに、県内の訪問看護ステーションおよび関係機関と情報共有することにより、訪問看護師の確保と定着をはかる

2) 育成に関する意見交換への出席

(1) 実施日 令和7年4月17日(木) 5月19日(月) 7月14日(月) 9月16日(火) 12月3日(水)
令和8年1月20日(火) 3月17日(火)

(2) 出席者 当該訪問看護ステーション：新卒訪問看護師 指導訪問看護師 管理者
母体病院：看護部長 看護部長補佐 病棟指導看護師 病棟師長
出身看護大学：教員2名

3) 新卒訪問看護師育成意見交換

(1) 目的 新卒訪問看護師：訪問看護に対する想いや実際の業務等について情報共有し、モチベーションを維持できる

訪問看護総合支援センター：新卒訪問看護師育成体制整備について当事者の想いを汲み取り、今後の事業に活かすこと

(2) 実施日 令和8年1月29日(木)

(3) 出席者 新卒訪問看護師：計4名 (新潟県1名 長野県2名 山形県1名)

訪問看護ステーション管理者：計4名 (同上) 訪問看護総合支援センター職員：計6名

4) 新卒訪問看護師育成 報告会

(1) 目的 新卒訪問看護師を採用した訪問看護ステーションの育成体制について情報共有し、それぞれの立場における取り組みを考えることができる

(2) 実施日 令和8年2月18日(水)

(3) 出席数・評価

施設種別	訪問看護ステーション	医療機関	教育機関	行政
出席数	25 施設 31 名	11 施設 15 名	8 施設 14 名	1 施設 1 名
満足度	92.3%	100%	100%	

2 訪問看護の魅力発信 in 看護師等学校養成所

1) 目的 看護師等学校養成所の学生に対し、現役の訪問看護師から訪問看護についての想いを伝え、意見交換することで、職業としての訪問看護への理解と関心を高め、訪問看護師の確保につなげる

2) 内容 ・学校所在圏域の訪問看護ステーションの訪問看護師2～3名による講話

・学生と訪問看護師の意見交換

・本課より情報提供：新潟県内の訪問看護の状況 訪問看護ステーションにおける育成体制 等

実施日	令和7年 7月29日(火)	令和7年 10月31日(金)	令和8年 2月17日(火)	令和8年 3月6日(金)
学校名	長岡崇徳大学	北里大学	新潟県立新発田病院 附属看護専門学校	長岡赤十字 看護専門学校
対象	3年生他 39名	2年生 37名	1年生 37名	2年生 31名

3) 評価 受講前後のアンケートのうち、問「訪問看護ステーションに就職することについての考え」4校計

回答選択肢	受講前	受講後
就職することは考えていない	70.0%	34.3%
病院で何年か働いてから就職したい	30.0%	56.7%
可能であれば卒業直ぐに就職したい	2.9%	0%

令和7年度 新潟県委託事業「訪問看護従事者研修会(新任者編)」全日程 プログラム

目的 訪問看護に関連する知識や技術を理解、修得し、実践に活かすことができる

日程 ①eラーニング:約35時間 ②講義:計7日間(35時間) ③施設実習:2日間 ①②③全てを受講する

※①については、前年度に各施設で受講し修了証書(写)を提出頂ければ免除とします。

会場 ①eラーニング:職場等 ②講義:新潟県看護研修センター ③施設実習:訪問看護ステーション・地域包括支援センター

*講義のうち 6/28・7/12・10/20 は会場受講のみとします(他の回はオンライン受講も可能)

費用 ①eラーニング:会員・非会員14,300円(税込) ②講義:資料代 会員15,400円(税込)・非会員46,200円(税込) ③無料

募集 30名

① eラーニング 【目的】訪問看護に関連する基本的な知識や技術を理解する。

期間	形態	履修科目	備考
5/31~11/7	訪問看護eラーニング ～訪問看護基礎講座～ (公益財団法人日本訪問看護財団)	第1章 訪問看護概論 第2章 在宅ケアシステム論 第3章 リスクマネジメント論 第4章 訪問看護対象論 第5章 訪問看護展開論 第6章 訪問看護技術論	・講義の項目に合わせて自己学習する ・確認テスト終了後に修了証書が発行される

② 講義 【目的】eラーニングで学んだ知識や技術を講義の学びにより深める。集団において他の受講者と意見交換することで自らの考えを深める。

回数	開催日	開催時間 時間数	会場	講義名	ねらい・学習内容	所属 講師名
1	5/31 (土) 午前のみ 公開講座有	9:30~ 11:30 2時間	中 研 修 室	地域包括 ケアシステム	○地域包括ケアシステムを理解する ○地域における訪問看護の役割を理解する ・地域包括ケアシステムの定義、構造、機能、動向 ・地域包括ケアシステムにおける訪問看護の役割 等	新潟県福祉保健部高齢福祉保健課 在宅福祉班 須田 真奈
		12:30~ 15:30 3時間		地域医療構想	○地域医療構想を理解する ○地域における訪問看護の役割を理解する ・地域医療構想の概念 ・新潟県地域医療構想 ・地域医療構想において訪問看護に求められる役割 等	新潟県福祉保健部地域医療政策課 地域医療整備室 由良 観識(ゆら まさのり)
		9:30~ 12:00 2.5時間		訪問看護概論	○訪問看護制度の基本を理解する ○地域における訪問看護の役割を理解する ・保健医療福祉に係る社会的背景と訪問看護のニーズ ・訪問看護の役割、機能、特性、諸制度 等	センター病院訪問看護ステーション 訪問看護認定看護師 古川 総一郎
2	在宅看護 研修会と 合同	13:00~ 15:30 2.5時間	大 研 修 室	在宅ケア システム	○在宅ケアマネジメントの基本を理解する ○多職種連携における訪問看護の役割を理解する ・ケアマネジメントの定義、目的 ・介護保険制度の基本 ・介護支援専門員の役割 ・多職種連携 ・BCP 等	新潟市居宅介護支援事業者連絡協議 会 会長 丸山 径世
		9:30~ 12:00 2.5時間		入退院支援	○医療機関と地域との連携の実際を理解する ○医療機関と地域との連携における看護職の役割を考える ・入退院支援における地域との連携 ・外来看護における地域との連携 ・看護職の役割	医療法人立川メディカルセンター 立川総合病院 入退院支援部門 看護主任 慢性心不全看護認定看護師 白倉 透規
3	6/28 (土) 公開講座 有	9:30~ 12:00 2.5時間	大 研 修 室	在宅での リハビリテーション	○リハビリテーションの基本を理解する ○リハビリテーションが必要な在宅療養者への援助技術を修得する ・在宅におけるリハビリテーションの基本と特性 ・関節の動かしかた ・適切な介助方法 等	済生会新潟県央基幹病院 リハビリテーション部 係長 呼吸専門理学療法士 瀬崎 学
		13:00~ 15:30 2.5時間		肺理学療法	○肺理学療法の基本を理解する ○呼吸管理を必要とする在宅療養者の安楽な呼吸援助の技術を修得する ・呼吸のフィジカルアセスメント ・肺理学療法の基本 ・在宅における呼吸ケアの実際 等	
4	7/12 (土) 公開講座 有	9:30~ 15:30 5時間	大 研 修 室	フィジカル アセスメント	○フィジカルアセスメントの基本を理解する ○在宅療養者の健康状態をアセスメントできる技術を修得する ・フィジカルイグザミネーションの基本 ・循環、神経系、消化のフィジカルアセスメントの基本 等	新潟青陵大学大学院看護学研究科 教授 佐々木 祐子
5	9/6 (土) 公開講座 有	9:30~ 15:30 5時間	大 研 修 室	訪問看護過程 訪問看護記録	○訪問看護過程の基本を理解する ○訪問看護の記録について理解する ・訪問看護過程 ・訪問看護の実際 ・訪問看護の記録の基本と実際 等	たちかわ訪問看護ステーション 管理者 訪問看護認定看護師 布川 元子
6	10/20 (月)	9:30~ 15:30 5時間	大 研 修 室	家族関係論 家族看護	○訪問看護の対象となる療養者と家族の特性を理解する ○家族支援方法を修得する ・家族関係論の基本 ・家族療法の意義、技法 ・家族支援のあり方の検討 等	国立病院機構新潟病院臨床研究部 臨床心理・遺伝カウンセリング研究室 室長 認定遺伝カウンセラー・臨床心理士 後藤 清恵
7	11/8 (土)	9:30~ 15:30 5時間	大 研 修 室	成果報告会	○講義、eラーニング、施設実習で得た学びを統合し、 訪問看護の役割、魅力を語る事ができる ・学びの振り返り ・訪問看護師としての今後の課題と行動計画	たちかわ訪問看護ステーション 管理者 訪問看護認定看護師 布川 元子

③ 施設実習 【目的】実践現場を体験することにより、eラーニングおよび講義で学習したことを統合し、訪問看護の実践に活かす

期間	場所・日程	ねらい・学習内容	備考
7/1~11/7	①自施設以外の訪問看護ステーション 1日 ②地域包括支援センター 1日	①他の訪問看護ステーションにおける訪問看護の展開を学ぶ ②地域包括支援センターの役割と、地域における連携の実際を学ぶ ・①②とも見学実習	・実習は協力の了解を頂いた施設で行う ・施設、日程については協会が調整する

令和7年度 新潟県委託事業「訪問看護従事者研修会(新任者編)」公開講座 プログラム

目的 訪問看護に関連する知識や技術を理解、修得し、実践に活かすことができる

日時 第1回5/31(土):9:30～11:30 第2回6/28(土)・第3回7/12(土)・第4回9/6(土):9:30～15:30

会場 新潟県看護研修センター 第1回5/31・第4回9/6:オンライン受講可能 第2回6/28・第3回7/12:会場受講のみ

費用 講義資料代 第1回5/31:会員1,100円(税込)非会員3,300円(税込) 第2回6/28・第3回7/12・第4回9/6:各回 会員2,200円(税込)非会員6,600円(税込)

募集 各回20名

回数	開催日	募集	開催時間 時間数	会場	講義名	○ねらい・学習内容	所属 講師名
1	5/31 (土)	20 名	9:30～ 11:30	中 研 修 室	地域包括 ケアシステム	○地域包括ケアシステムを理解する ○地域における訪問看護の役割を理解する ・地域包括ケアシステムの定義、構造、機能、動向 ・地域包括ケアシステムにおける訪問看護の役割 等	新潟県福祉保健部高齢福祉保健課 在宅福祉班 須田 真奈
			2時間		地域医療構想	○地域医療構想を理解する ○地域における訪問看護の役割を理解する ・地域医療構想の概念 ・新潟県地域医療構想 ・地域医療構想において訪問看護に求められる役割 等	新潟県福祉保健部地域医療政策課 地域医療整備室 由良 毅哉 (ゆら まさのり)
2	6/28 (土)	20 名	9:30～ 12:00	大 研 修 室	在宅での リハビリテーション	○リハビリテーションの基本を理解する ○リハビリテーションが必要な在宅療養者への援助技術を修得する ・在宅におけるリハビリテーションの基本と特性 ・関節の動かし方 ・適切な介助方法 等	済生会新潟県中央基幹病院 リハビリテーション部 係長 呼吸専門理学療法士
			13:00～ 15:30		肺理学療法	○肺理学療法の基本を理解する ○呼吸管理を必要とする在宅療養者の安楽な呼吸援助の技術を修得する ・呼吸のフィジカルアセスメント ・肺理学療法の基本 ・在宅における呼吸ケアの実際 等	瀬崎 学
3	7/12 (土)	20 名	9:30～ 15:30	大 研 修 室	フィジカル アセスメント	○フィジカルアセスメントの基本を理解する ○在宅療養者の健康状態をアセスメントできる技術を修得する ・フィジカルイグザミネーションの基本 ・循環、神経系、消化のフィジカルアセスメントの基本 等	新潟青陵大学大学院看護学研究科 教授 佐々木 祐子
4	9/6 (土)	20 名	9:30～ 15:30	大 研 修 室	訪問看護過程 訪問看護記録	○訪問看護過程の基本を理解する ○訪問看護の記録について理解する ・訪問看護過程 ・訪問看護の実際 ・訪問看護の記録の基本と実際 等	たちかわ訪問看護ステーション 管理者 訪問看護認定看護師 布川 元子

令和7年度 新潟県委託事業「訪問看護従事者研修会(管理編)」全日程・公開講座 プログラム

目的 訪問看護ステーション運営に必要な知識や技術を学び、実践に活かすことができる

日程 全日程：① 講義4日間(22時間) ②施設実習2日(訪問看護ステーション実習1日 地域包括支援センターまたは病院1日)

公開講座：6/14(土)9:30～16:30 ・7/19(土)9:30～15:30 ・10/4(土)9:30～12:30

会場 講義：新潟県看護研修センター 5/10・7/19・10/4午後は会場受講のみ 6/14・10/4午前はオンライン受講も可

費用 全日程：講義資料代 会員8,800円(税込) 非会員26,400円(税込)

公開講座：講義資料代 6/14・7/19:会員2,200円(税込)非会員6,600円(税込) 10/4午前:会員1,100円(税込)非会員3,300円(税込)

募集 全日程：20名 公開講座：会場受講者の最大数→以下に記載 オンライン受講の場合は制限なし

① 講義(全日程・公開講座)

全日程	公開講座		開催日	開催時間	会場	講座名	ねらい・学習内容	講師(敬称略)
	回数	定員						
1			5/10 (土)	9:30～15:30 5時間	大研修室	看護マネジメント	○看護マネジメントの基本を理解する ○看護サービス管理について理解する ○組織の成長・発展のための看護管理実践の方法を知る ・マネジメントの体系、変革理論、システム論について ・看護サービスの標準化、質の保証と評価 ・リーダーシップ論について ・組織の問題の背景や原因の分析、整理の方法、課題を明確にすることについて →10/4に発表する 等	社会医療法人桑名恵風会 桑名病院 看護部長 認定看護管理者 伊藤 恵
2	1	20名	6/14 (土) 公開講座 有り	9:30～12:30 3時間	中研修室	訪問看護ステーションにおけるリスクマネジメント	○リスクマネジメントの基本を理解する ○組織的に事故防止を行うための課題と取り組みを明確にする ・医療安全の基礎知識 ・訪問看護ステーションにおける安全管理のポイントと体制の構築 ・事故発生時の対応 等	東京科学大学大学院 保健衛生学研究科 ヘルスサービスリサーチ看護学分野 教授 柏木 聖代 ※オンライン講義
				13:30～16:30 3時間		訪問看護ステーションの労務管理	○労務管理の基本を理解する ○訪問看護ステーションにおける労務管理を理解する ○ハラスメントに関する基本を理解し対応策を明確にする ・労務管理の基礎 ・訪問看護ステーションに必要な労務管理 ・ハラスメントの定義、対策 ・職員の心身の健康管理 等	加藤看護師社労士事務所 代表 特定社会保険労務士 看護師 医療労務コンサルタント 加藤 明子 ※オンライン講義
3	2	30名	7/19 (土) 公開講座 有り	9:30～15:30 5時間	大研修室	訪問看護ステーションの経営戦略	○訪問看護ステーション経営の基本を理解する ○自施設の経営課題と取り組みを明確にできる ・訪問看護ステーションを取り巻く経営環境 ・訪問看護ステーション経営の基礎知識 ・収支構造の理解と経営管理 ・経営安定化に向けた取り組み 等	渡邊会計事務所 所長 公認会計士 税理士 看護師 渡邊 尚之
4		30名	10/4 (土) 公開講座 有り	9:30～12:30 3時間	大研修室	訪問看護の質向上	○訪問看護ステーション運営の基本を理解する ○訪問看護ステーション管理者の役割を理解する ○自施設における質向上における課題と取り組みを明確にできる ・訪問看護を取り巻く社会的背景 ・訪問看護ステーション運営と管理者の役割 ・訪問看護事業に求められる人材(人財)育成 ・訪問看護師の生涯学習 等	公益財団法人日本訪問看護財団 常務理事 あすか山訪問看護ステーション 統括所長 在宅看護CNS 平原 優美 ※オンライン講義
				13:30～16:30 3時間		訪問看護ステーション管理者の役割	○訪問看護ステーション管理者の役割を理解する ○自施設の課題と取り組みを深める ・所属する組織の問題と課題を明確にし、発表する ・質疑応答を通して、参加者同士で他の組織の問題を共有する 等	社会医療法人桑名恵風会 桑名病院 看護部長 認定看護管理者 伊藤 恵

② 施設実習(全日程のみ)

期間	時間	場所・日程	ねらい・学習内容	備考
7/1～10/3	実習施設と相談(5時間以上)	①自施設以外の訪問看護ステーション 1日 ②病院の地域連携部門または地域包括支援センター 1日	①他の訪問看護ステーションにおける管理業務の実際を学び、自身の役割を明確にする ②病院：入退院における連携の実際を学び、訪問看護の役割と自施設における取り組みを説明することができる ②地域包括支援センター：地域包括支援センターの役割と地域における連携の実際を学び、訪問看護の役割と自施設の取り組みを明確にする ・①②とも見学実習	・実習は協力の了解を頂いた施設で行う ・施設、日程については協会が調整する

令和7年度 新潟県委託事業 訪問看護従事者研修会(スキルアップ編) プログラム

目的 質の高い訪問看護サービスに必要な知識・技術を学び、実践に活かすことができる

日時 **※全日程ではなく、1回単位で受講する**

第1回8/23(土)9:30～15:30 第2回9/2(火)13:30～16:00 第3回9/17(水)14:00～16:00 第4回10/1(水)13:30～15:30
 第5回10/16(木)13:30～15:30 第6回11/20(木)13:30～16:00 第7回12/6(土)9:30～15:30

方法・会場 8/23:会場受講のみ 9/2・9/17・10/1・10/16・11/20 :Zoomミーティングによるオンライン受講(会場受講も可能)
 12/6:会場受講(Zoomミーティングによるオンライン受講も可能)

会場受講の場合;新潟県看護研修センター

費用 講義資料代 8/23・12/6 : 5時間の講座 各回 会員2,200円(税込) 非会員6,600円(税込)

9/2・9/17・10/1・10/16・11/20 : 2時間～2.5時間の講座 各回 会員1,100円(税込) 非会員3,300円(税込)

募集 各回60名 ※オンライン研修はPC1台で複数名の受講は可能ですが、受講される方全ての申し込みが必要です。

回数	開催日	開催時間	会場	募集	講義名	○ねらい・学習内容	講師(敬称略)
1	8/23 (土)	9:30～ 15:30 5時間	大 研 修 室	60 名	精神科訪問看護	○精神科訪問看護について理解し、実践に活かすことができる～心理教育の要素を活かして～ ・精神科医療・看護で行われていること ・精神科訪問看護について ・精神科訪問看護の実際 ・精神科訪問看護をケースを通して 等	訪問看護ステーションめぐみ 所長 佐藤博幸
2	9/2 (火)	13:30～ 16:00 2.5時間	オ ン ラ イ ン 受 講	60 名	小児訪問看護	○県内の小児訪問看護の実態と実際を知り、課題と自施設における取り組みを考えることができる ・小児訪問看護の調査結果報告 ・実践報告 ・意見交換 等	長岡療育園 新潟県医療的ケア児 支援センター 看護師 大嶋 さよ子 訪問看護ステーションtete 管理者 平山 沙知子
3	9/17 (水)	14:00～ 16:00 2時間	オ ン ラ イ ン 受 講	60 名	パーキンソン病と 訪問看護	【パーキンソン病の病態と治療】 ○パーキンソン病の基本的な病態と治療方法について理解し、訪問看護の役割を考えることができる ・パーキンソン病の病態生理 ・パーキンソン病の治療 ・訪問看護に求めること 等	堀川内科・神経内科医院 院長 今野 卓哉
4	10/1 (水)	13:30～ 15:30 2時間	オ ン ラ イ ン 受 講	60 名	パーキンソン病と 訪問看護	【パーキンソン病の薬剤治療】 ○パーキンソン病の薬剤治療の基本を理解する ○在宅における薬剤治療に関連する取り組みを理解する ○薬剤治療が効果的に行われるために訪問看護に求められる役割を考えることができる ・パーキンソン病の薬剤治療の基本 ・在宅における薬剤師の役割 ・薬剤治療に関連する訪問看護師の役割 等	独立行政法人国立病院機構 西新潟中央病院 薬剤部 製剤主任 花垣 諒太 公社)新潟県薬剤師会 常務理事 吉田 智彰
5	10/16 (木)	13:30～ 15:30 2時間	オ ン ラ イ ン 受 講	60 名	パーキンソン病と 訪問看護	【パーキンソン病のリハビリテーション】 ○難病のリハビリテーションの基本を理解する ○多職種と連携したリハビリテーションの 取り組み方を学ぶ ○リハビリテーションにおける訪問看護の役割を 考えることができる ・難病のリハビリテーションの基本 ・リハビリテーションの実際 等	みどり訪問看護 リハビリステーション 理学療法士 中村 葉月
6	11/20 (木)	13:30～ 16:00 2.5時間	オ ン ラ イ ン 受 講	60 名	訪問看護師に 求められる コミュニケーションスキル	○訪問看護師として必要なコミュニケーションとは何かを考えることができる ○自分のコミュニケーションの傾向を知る ○気持ちのよいコミュニケーションのためのスキルについて理解し、演習ができる	聖路加国際大学大学院 講師 東京ひかりナースステーション クオリティマネジメント部 顧問 在宅看護専門看護師 DNP 佐藤 直子
7	12/6 (土)	9:30～ 15:30 5時間	大 研 修 室	60 名	慢性心不全をもつ 利用者の 訪問看護	○慢性心不全の病態を理解する ○慢性心不全をもつ利用者の在宅療養生活に必要な看護を考えることができる ・慢性心不全の病態生理と治療 ・慢性心不全をもつ利用者の在宅療養 ・慢性心不全をもつ利用者の終末期の看護 等	社会福祉法人恩賜財団済生会 新潟県中央基幹病院 慢性心不全看護認定看護師 坂井 和泉

令和7年度 新潟県委託事業「在宅看護(入退院支援)研修会」全日程・公開講座 プログラム

- 目的 1.地域連携に必要な知識と在宅支援システムを学び、実践に活かすことができる
2.療養者およびその家族が安心して入退院できる支援方法を学び実践に活かすことができる

日程 全 日 程:講義4日間(22時間) 訪問看護ステーション実習2日間

公開講座:講義4回

会場 新潟県看護研修センター 6/12・7/24・10/18 はZoomによるオンライン受講も可能 11/15は会場受講のみ

費用 全 日 程:講義資料代 会員8,800円(税込) 非会員26,400円(税込)

公開講座:講義資料代 各回 会員2,200円(税込) 非会員6,600円(税込)

募集 全日程:20名 公開講座:会場受講者の最大数→以下に記載 オンライン受講は制限なし

① 講義 (全日程・公開講座)

全日程	公開講座		開催日	時間	会場	講座名	○ねらい ・学習内容	講師 (敬称略)
	回数	募集						
1	1	20名	6/12 (木) 訪問看護 従事者研 修会(新任 者編)と合 同開催	9:30~ 12:00 2.5時間	大 研 修 室	在宅ケ ア シ ス テ ム	○在宅ケアマネジメントの基本を理解する ○多職種連携における訪問看護の役割を理解する ・ケアマネジメントの定義、目的・介護保険制度の基本 ・介護支援専門員の役割・多職種連携・BCP等	新潟市居宅介護支援事業者 連絡協議会 会長 丸山 径世
				13:00~ 15:30 2.5時間		入退院支援	○医療機関と地域との連携の実際を理解する ○医療機関と地域との連携における看護職の役割を考える ・入退院支援における地域との連携 ・外来看護における地域との連携 ・看護職の役割 等	医療法人立川メディカルセンター 立川総合病院 入退院支援部門 看護主任 慢性心不全看護認定看護師 白倉 透規
2	2	20名	7/24 (木)	9:30~ 12:00 2.5時間	中 研 修 室	地域ケ ア シ ス テ ム	○地域ケアシステムについて理解する ○地域において看護職に求められる役割を考える ・地域ケアシステムの基本、地域診断 ・地域ケアシステム構築において必要な視点 ・地域ケアシステムの実際 等	新潟大学大学院 保健学研究科 准教授 井上 智代
				13:00~ 15:30 2.5時間		訪問看護の 実際	○訪問看護の制度を理解する ○訪問看護師の役割について理解する ・在宅ケアを受ける療養者と家族 ・訪問看護制度・訪問看護師の役割 ・訪問看護と医療機関の連携、入退院支援 等	訪問看護ステーションふくふく 管理者 緩和ケア認定看護師 中野 美佳
3	3	40名	10/18 (土)	9:30~ 13:00 3.5時間	大 研 修 室	在宅療養生活 の 支援	○地域連携における看護職の役割を考える ・講義および実習での学びを共有する ・在宅、訪問看護での家族支援 等 ※公開講座受講者はグループワークを通して学びを共有する	訪問看護ステーション ふくふく 管理者 緩和ケア認定看護師 中野 美佳
				14:00~ 16:30 2.5時間		地域における 診療	○地域包括ケアシステムの具体的実践について理解する ○ACPIについて理解する ・地域包括ケアシステムとは ・地域における診療の実際 ・意思決定支援に関わる看護師の役割 等	山の下クリニック 院長 阿部 行宏
				9:30~ 16:30 6時間		地域ケア システムに おける 在宅療養に 向けた支援	○本人の意志を尊重した在宅療養支援を行うための 看護師の役割を理解し、自施設の課題を明確にして、 解決に向けて行動できる。 講義・看看連携が推進する地域包括ケアシステム ・地域共同で取り組む入退院支援 DX/ICT活用 ・外來から始める在宅療養支援 ・ケアプロセスを切れ目なくつなぎ、意思決定を 支える院内、院外の仕組み ・地域で紡ぎ、つなぐACP支援 グループワークと全体共有	在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィス 宇都宮 宏子

② 実習(全日程のみ)

期間	時間	場所・日数	○目標 ・内容	備考
7/1~ 11/14	実習施設と 相談 (5時間以上)	訪問看護ステーション 2日間	○訪問看護を体験し、在宅療養者と家族の生活を知る ○医療機関と地域との連携の実際を知る ・訪問看護の同行 ・その他(実習施設と相談)	・実習は協力の了解を頂いた施設で行う ・施設、日程については協会が調整する

ナースセンター事業報告

令和7年度実績（令和8年6月発行）

編集発行 公益社団法人新潟県看護協会
〒951-8133 新潟市中央区川岸町2丁目11番

ナースセンター課 訪問看護推進課

TEL 025-233-6011 025-265-4188
FAX 025-265-4188 025-233-7672

課長	高橋 恒子	今出 晶代
担当職員	伊藤 千智	小野 菊世
	渡邊 典子	安達 純子
	白井 美里	
	石田 深夏	
	高梨 美和	
	大塩 恵子	
	渡辺 礼子	
	徳永 和代	
	西潟 紀美江	
	坂井 恵子	

（令和8年3月31日現在）